FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES™

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

～Beyond the Endless Sky～

GANGAN COMICS

III

Ryunosuke Ichikawa

Ryunosuke Ichikawa

This concludes the caravan's one year journey, and my first comic series. I would like to thank everyone involved in this process. I hope you look forward to my future works.

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES™

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

～はてなき空の向こうに～

3

壱河柳乃助（いちかわりゅうのすけ）

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO, INC. FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana

CONTENTS

13月目
5 瘴気の奴隷

14月目
43 撃墜

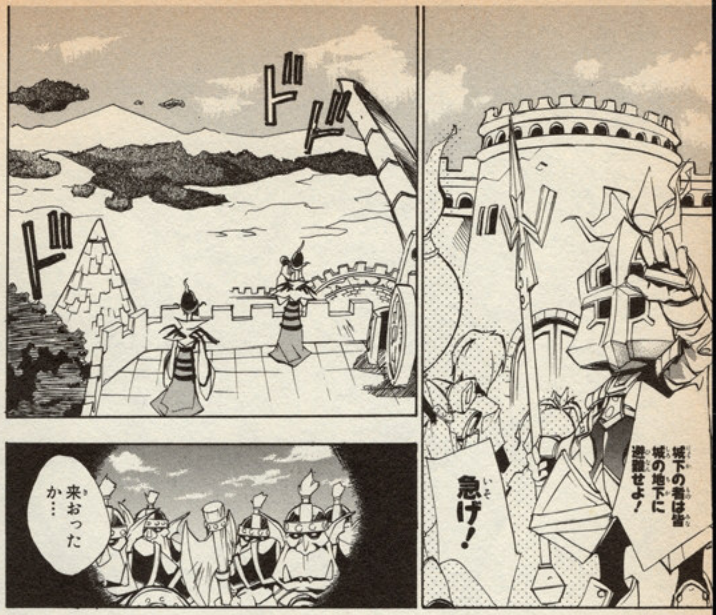
15月目
81 過去と昔と古の敵

16月目
119 クリスタルキャラバンとして

最終月
157 命をつむぐ旅

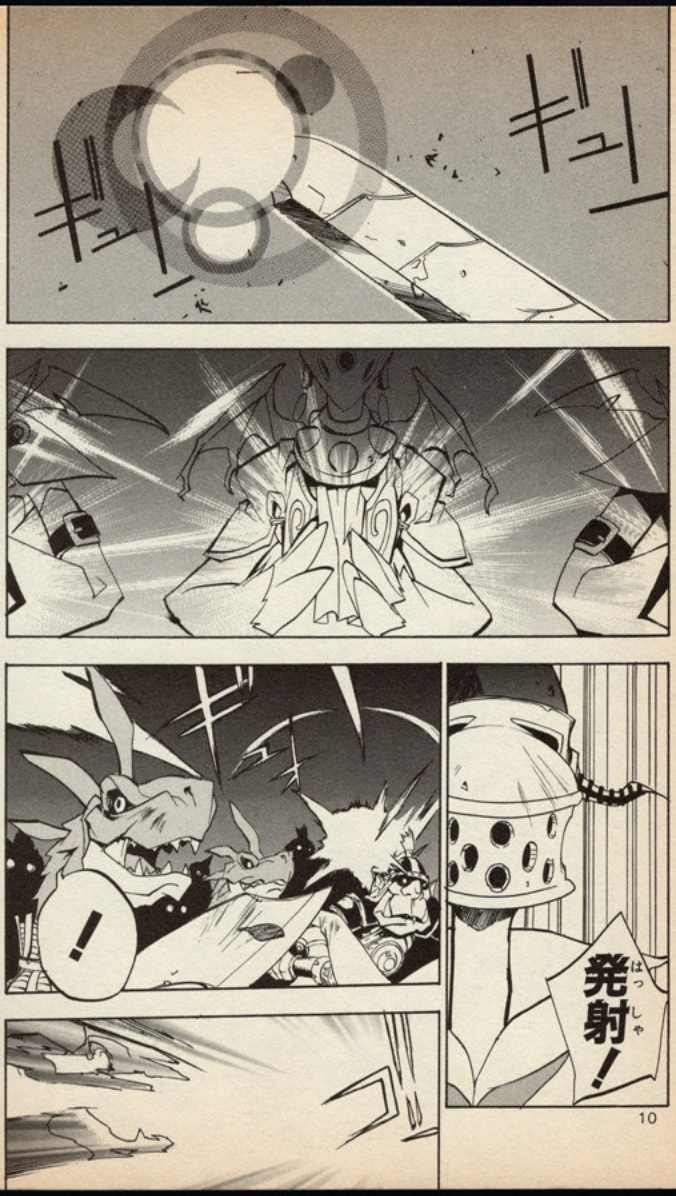
ガアア
アアアッツ
ガ
チャ
下賤が
いかなベヒーモスと
言え所詮畜生の
容れ物
この剣の前で
我に逆らえは
しないのだ
いいか
お前達

この剣の下
我に従い人間共を
抹殺せよ!
世界に奴らの
生きる場所など
無い事を知らしめて
やれ!!
13月目
瘴気の奴隷


城下の者は皆
城の地下に
避難せよ！
急げ！
ドドド
ドド
来おったか…

隊列を組んで
行進とはおよそ
魔物らしからぬ
事をする
我々が
クリスタルで守られた
範囲の外へは
手出し出来ないと
考えているのだ
ろうが…
だがそれが
命取りだ
……
第一砲台
完了しました
第二砲台
準備出来
ました！

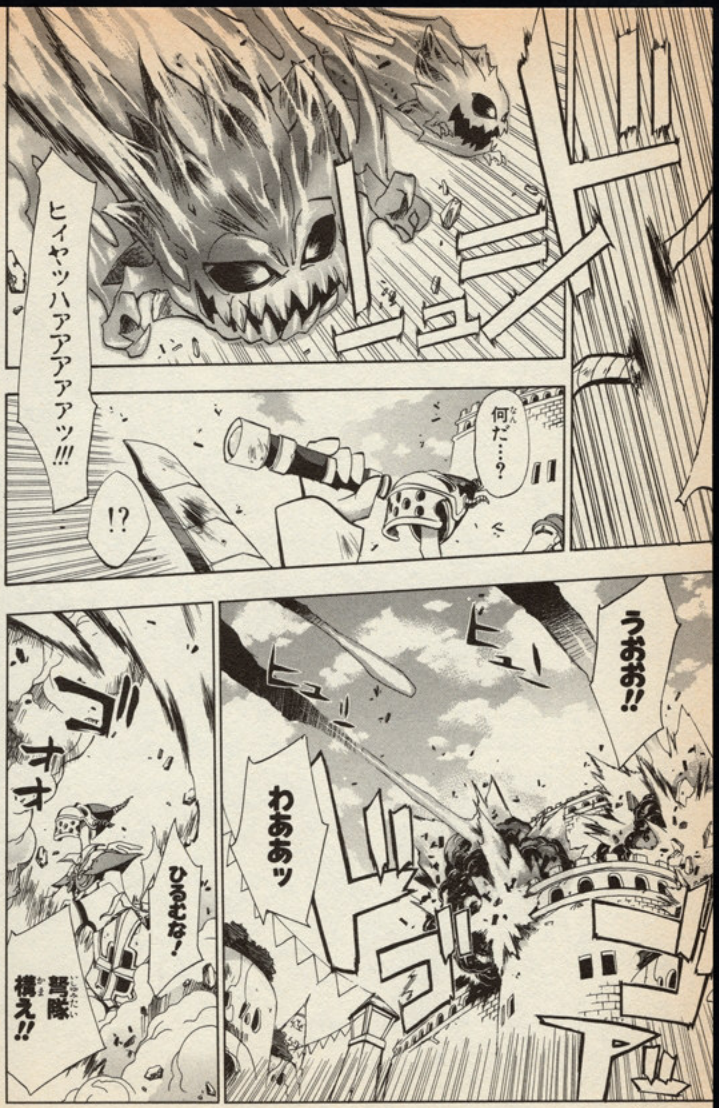
ガコー
魔石装填！
座標確認！
魔力充填開始！
カアアア
我々がただじっと待っているだけだと思うでないぞ
ドドドド
魔法の鉱石ミスリルの特性を生かし完成させた魔法砲台
魔法を広範囲かつ遠距離で放つ事を可能にした
ドカ
ドカ

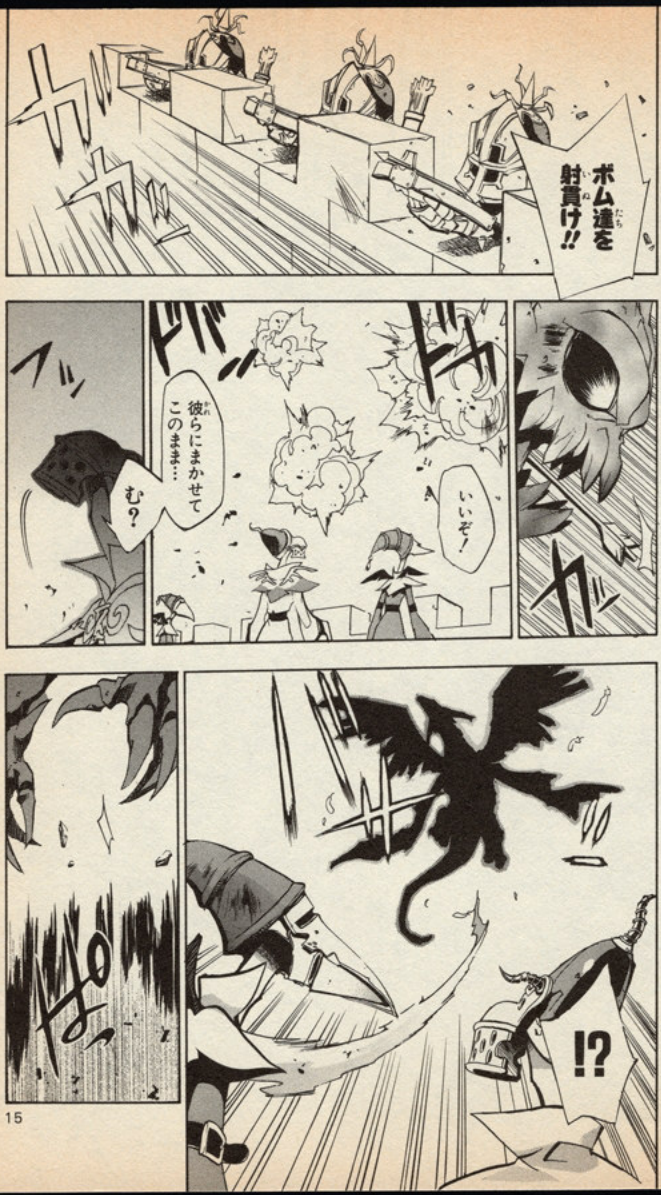

ギュ
ギュ
！
発射！

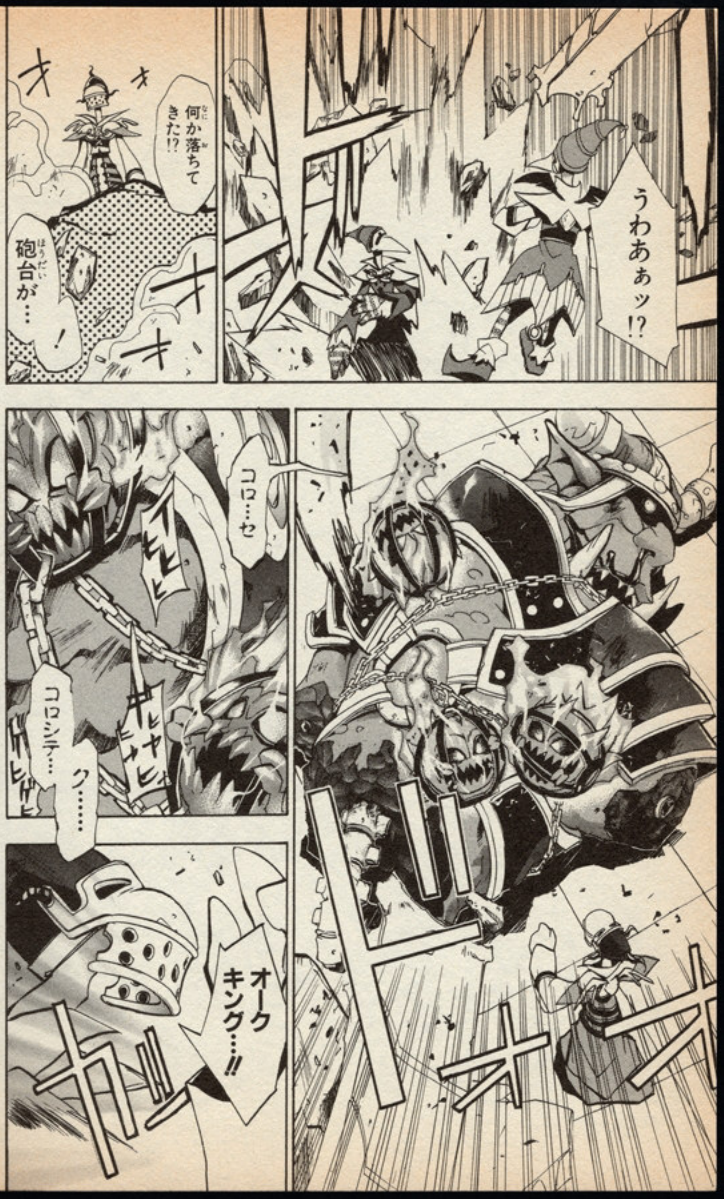
ドカ
!!?
ファイガ!!!
……何?
ギャアアッ
ゴオオ
第二波用意!!
発射!

ブリザガ!!!
!!
ゴォ
おいコレって…
ドォォ
ああ…全然勝てるんじゃないのか…?

玩具だな
そんなもので我々を止める事など出来ん


ヒィヤッハアアアアッ!!!
何だ…?
!?
うおお!!
わああッ
ゴオオ
ひるむな!
弩隊 構え!!

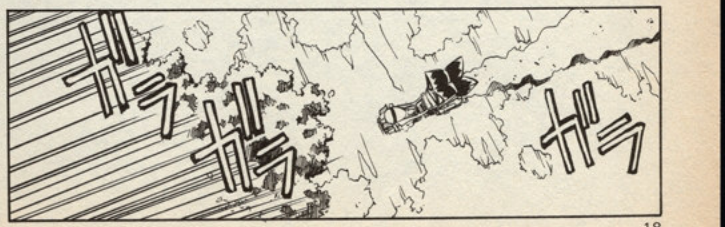

ボム達を射貫け!!
いいぞ!
彼らにまかせてこのまま…
む?
フッ
!?


うわあぁッ!?
何か落ちてきた!?
砲台が…
コロ…セ
コロシテ…
ク……
オークキング…!!

ドドド
ドドド
わわっっ！
パラ
パラ…
ととっ
すごい揺れ
ったく
こんな時に
いなくなる
なんて…
デ・ナム…
あいつ昨夜も
姿見せなかった
けど
アンタがいない
せいでシーベーグが
代わりに上で
がんばってるって
のに
何やってる
のよ一体…

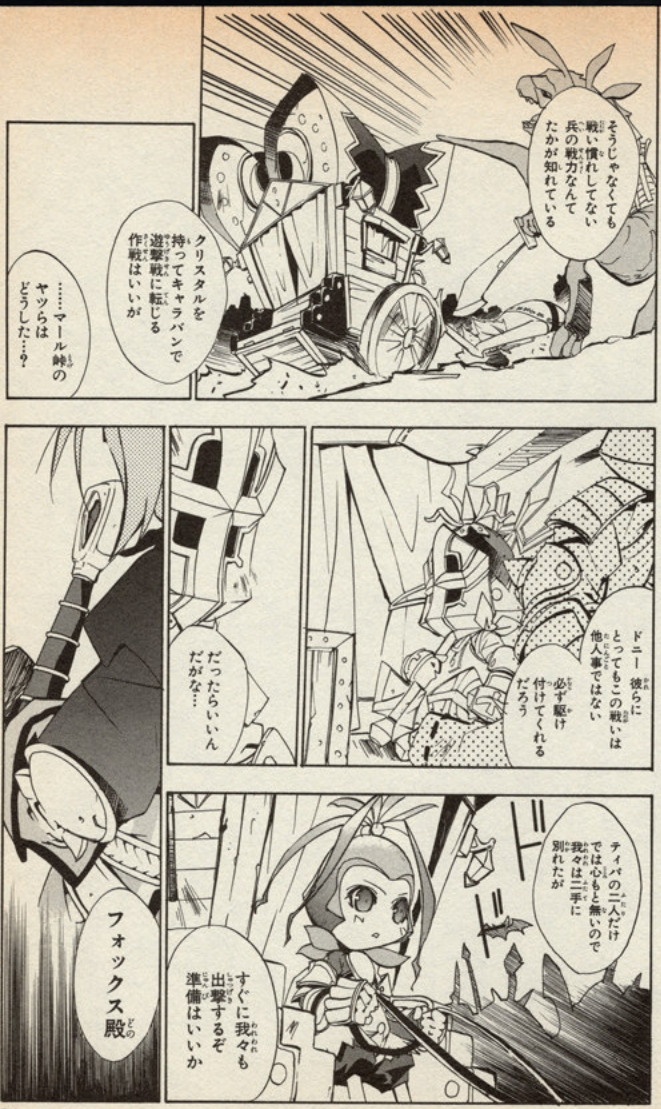
ゴゴゴゴゴゴ

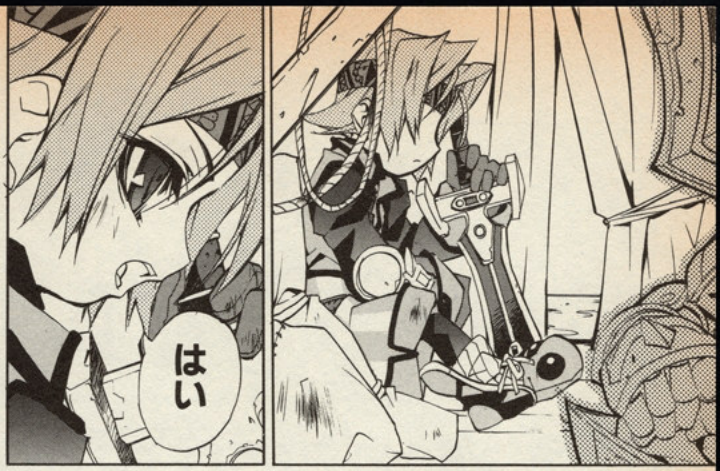
クリスタルを
壊し一気に
殺しはしない
時間をかけ
じっくり攻め
潰してくれる
……！

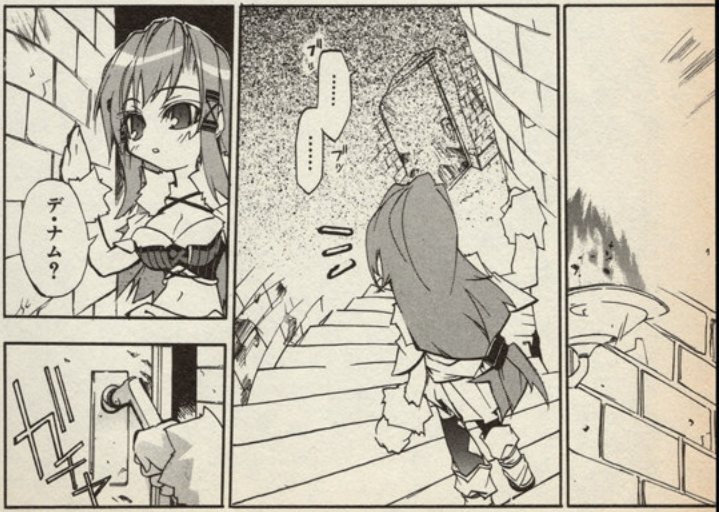

ガラ
ガラ
ガラ

ドカ
瘴気から守られている城門手前まで御足労願うまでもない

我々クリスタルキャラバンがこの場で蹴散らす!!
うおおぉあッ!!
ハアッ
相手は瘴気の中を自由に動きまわる魔物共
城近くじゃなきゃそれなりに数いる兵も手出し出来ねぇ…


そうじゃなくても戦い慣れしてない兵の戦力なんてたかが知れている
クリスタルを持ってキャラバンで遊撃戦に転じる作戦はいいが
……マール峠のヤツらはどうした…？
ドニー 彼らにとってもこの戦いは他人事ではない
必ず駆け付けてくれるだろう
だったらいいんだがな…
ティバの二人だけでは心もと無いので我々は二手に別れたが
ドドドドド
すぐに我々も出撃するぞ準備はいいか
フォックス殿


はい


デ・ナム？
……
……

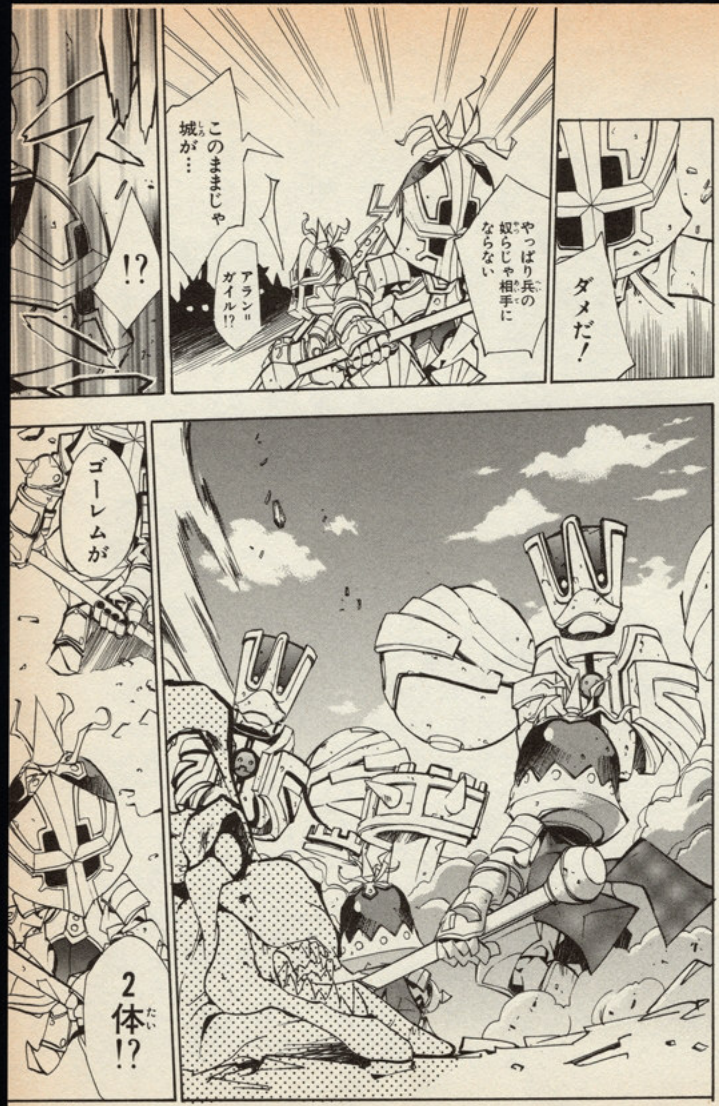
こんなとこにいたの
捜したわ！
マクシームさん達が呼んでるわよ
今、外で魔物の大群が……
知ってるよ
クリスタルをねらってる

ヤツ等の手に落ちればここはすぐに瘴気にのまれてしまう
ズッ…
そうよ！だから早く追いはらう手伝いを……
でも何も心配無い
する…

やっと見つけたんだ
クリスタル無しで生きる術を

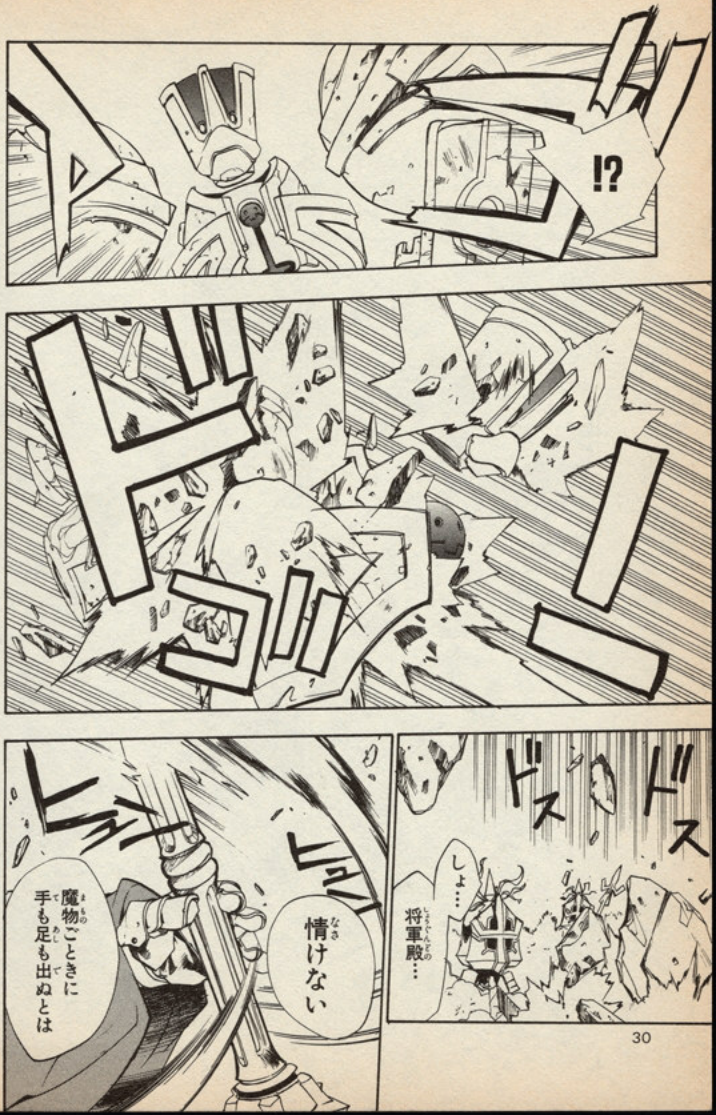
これで俺達は
真の自由を手に
する事が出来る
デ・ナム
あんた…

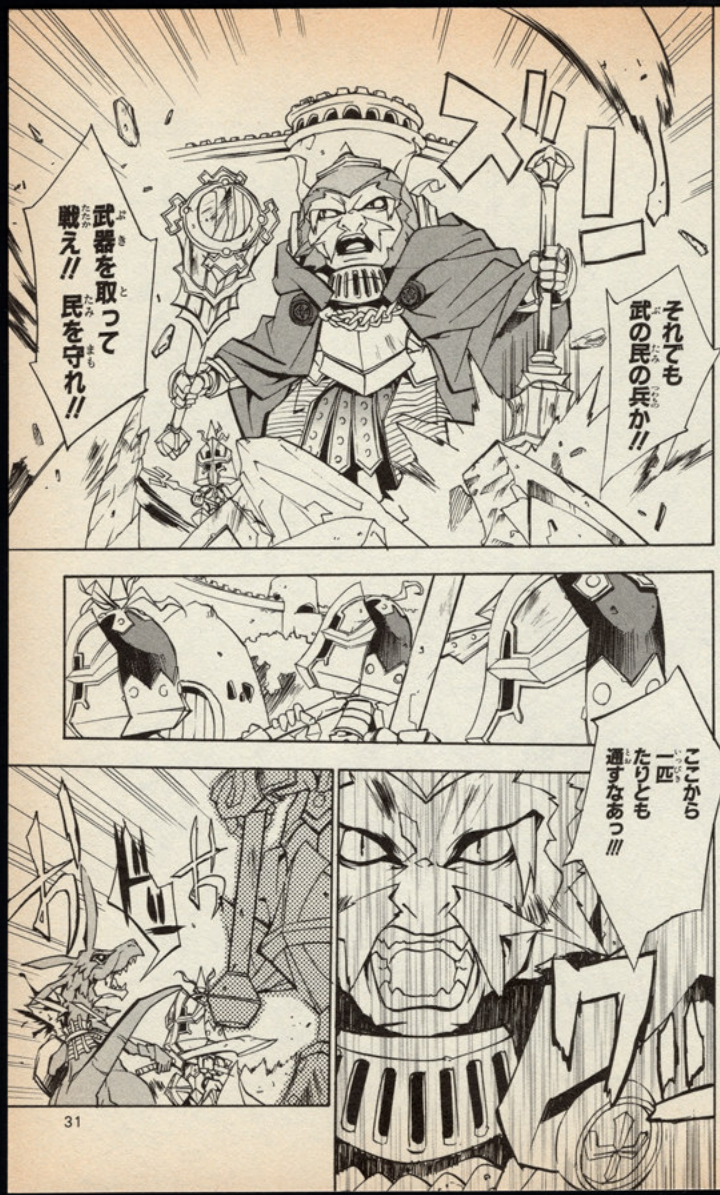
ゴゴゴ
!
城壁が突破された!?
しっ…
城へ近付けるな!
街を守れ!
…ひ
あ…うわ
ゴ
うわああ あっっ!!


ダメだ！
やっぱり兵の奴らじゃ相手にならない
このままじゃ城が…
アラン〃ガイル!?
!?
ゴーレムが
2体!?

マクシーム様
スピラーン様
!
マクシーム様大丈夫ですか!?
ガラ
う…ああ何とかな
砲台はもう使えんな…他の者は…?
…大体は
あやつ…ドラゴンゾンビを使い瀕死のオークキングを落としてくるとは
オークキングの死にぎわに「自爆」する習性を知っての事か…むごい事を
白騎士は魔物の事を知りつくしているようだな
シーベーグ君…デ・ナムが来るまで手伝ってもらうつもりだったが
砲台がこうなってしまったのではここにいても仕方無い
!
フォックス君と行く所を引き止めてしまってすまなかった

城壁が破られた
今、兵が大勢
負傷して運ばれて
くるだろう
ゴオオオ
我々も下に降り
彼らの救援に
行かねば…
君はフォックス君の
所へ行くがいい
しかし
マクシーム様…
くっ
来るなぁ!!
!?
オオオオオツツ!!!


!?
ドゴーン
ドス
ドス
しょ…
将軍殿…
ヒュン
ヒュン
情けない
魔物ごときに
手も足も出ぬとは


それても
武の民の兵か!!
武器を取って
戦え!! 民を守れ!!
ここから
一匹
たりとも
通すなあっ!!!

あの者 現役を退いていたにもかかわらずあれだけの力を持っているとは…
…マクシーム様 私も一緒に救援に向かいます
何? フォックス君の所へは…
彼等なら大丈夫ですよ
はっ!!
ゲヒッ

クレア
後ろ！
ガァ
ドッ
フォックス！
なかなかの
戦いっぷりだな
とても
新米とは
思えん
ああ…
ひそ
ポリクポ
特にフォックス殿
には鬼気迫る
ものを感じる

はぁあああっっ!!!
ジュニア…
きっと助ける
君も…母さんも
……!
だから戦う
こんな所で
死ぬ訳には
いかない…!
すさまじい
までの強さよ

フォックス殿
迷いは無い!!
向かってくる者は容赦無く倒す!!!
ブブッ…
フォックス!!

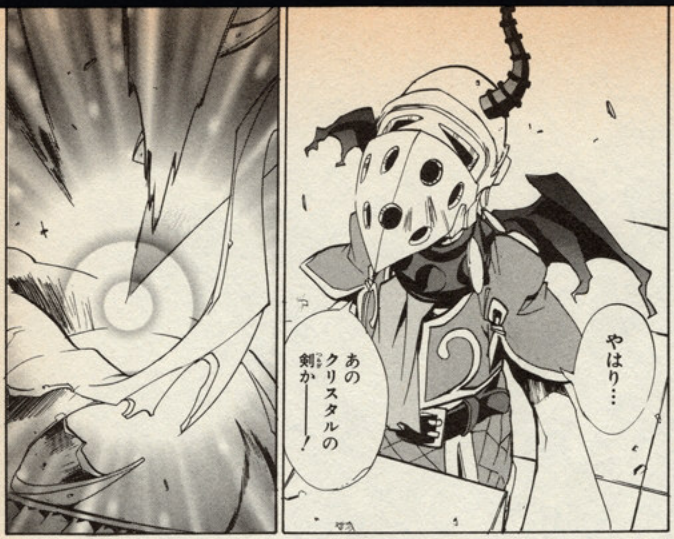
どんなに強固な
敵でも切り裂く
あの剣…
あの剣は
もしや

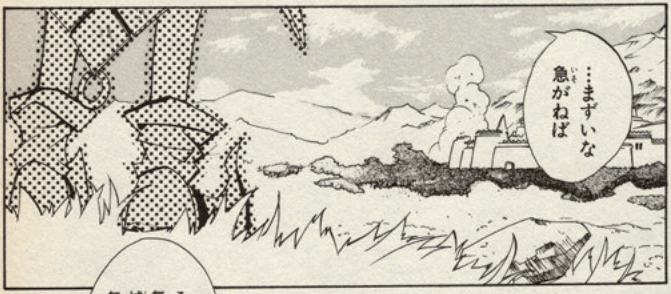
先代のキャラバンから彼が譲り受けたものですよ
幻の鉱石アルテマイトとオリハルコンを合わせ村の鍛冶屋が鍛え上げた
究極の武器

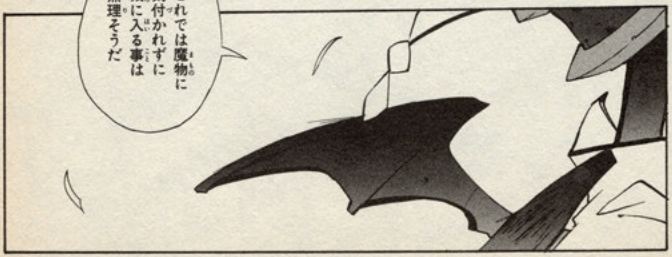
アルテマソード!!!
発明品…
そうだったな 君の家は 錬金術師の
…私の父の 発明品でも あるんです
父さん…!

攻め倦ねるか…
だがそういつまでも食い止められるものでは無い
四方が駄目ならば八方から攻めるのみ
!
何だ!?

オオオ
…魔物共がちらばっていく!?
ドカ
ドカ
ドカ
城に広範囲から侵攻するつもりか!
ゴゴゴ
これでは少数の我々では防ぎきれない!!

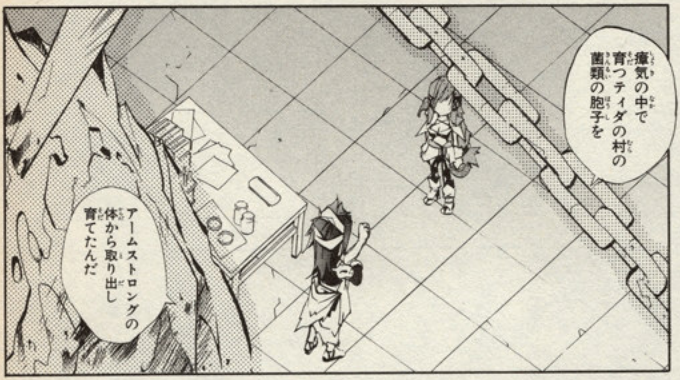

やはり…
あの
クリスタルの
剣か――!


…まずいな
急がねば


これでは魔物に
気付かれずに
城に入る事は
無理そうだ

マクシーム様は
無事だろうか
我々が加勢に
行くまで持ち
こたえてくれよ…

素晴しいだろう?


瘴気の中で育つティダの村の菌類の胞子を
アームストロングの体から取り出し育てたんだ

7日でここまで育つとは思わなかったが
もともと瘴気を含む水で生活していたオレの体によくなじんだらしい

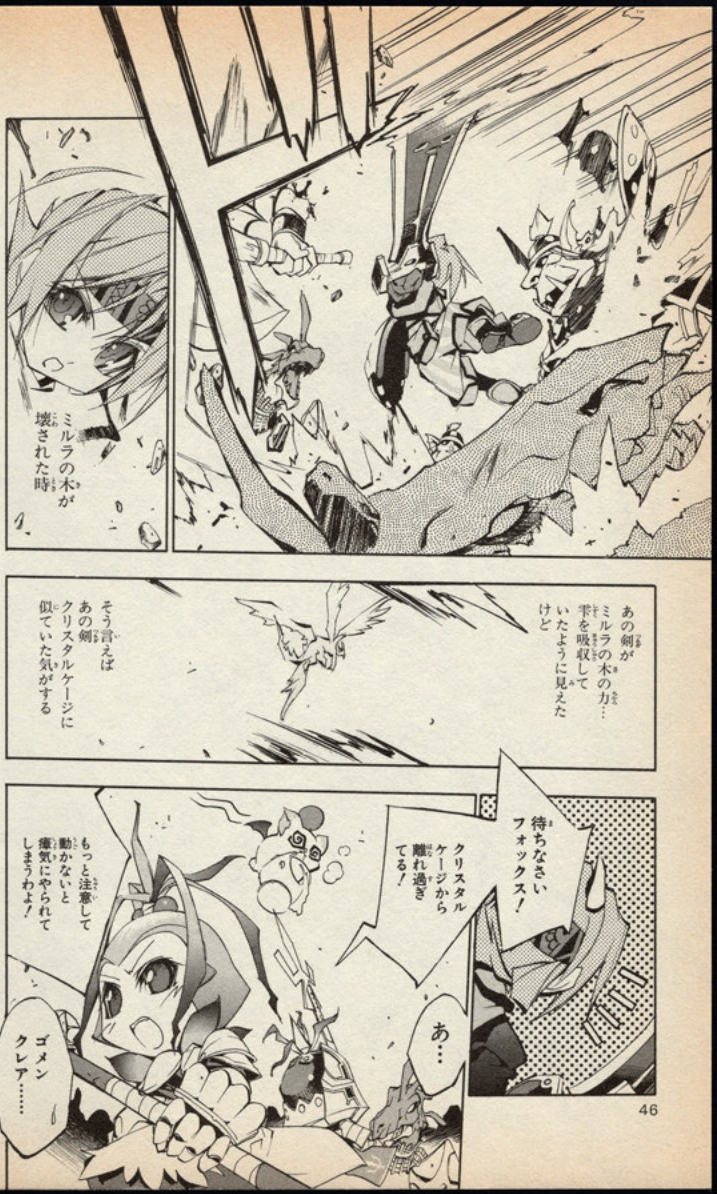
これが全身になじむ頃には瘴気にも…
…アタシはアンタの研究をすごいと思ってた

でもアンタの言ってた瘴気の中で生きる方法ってのは
魔物になる事だった訳!?

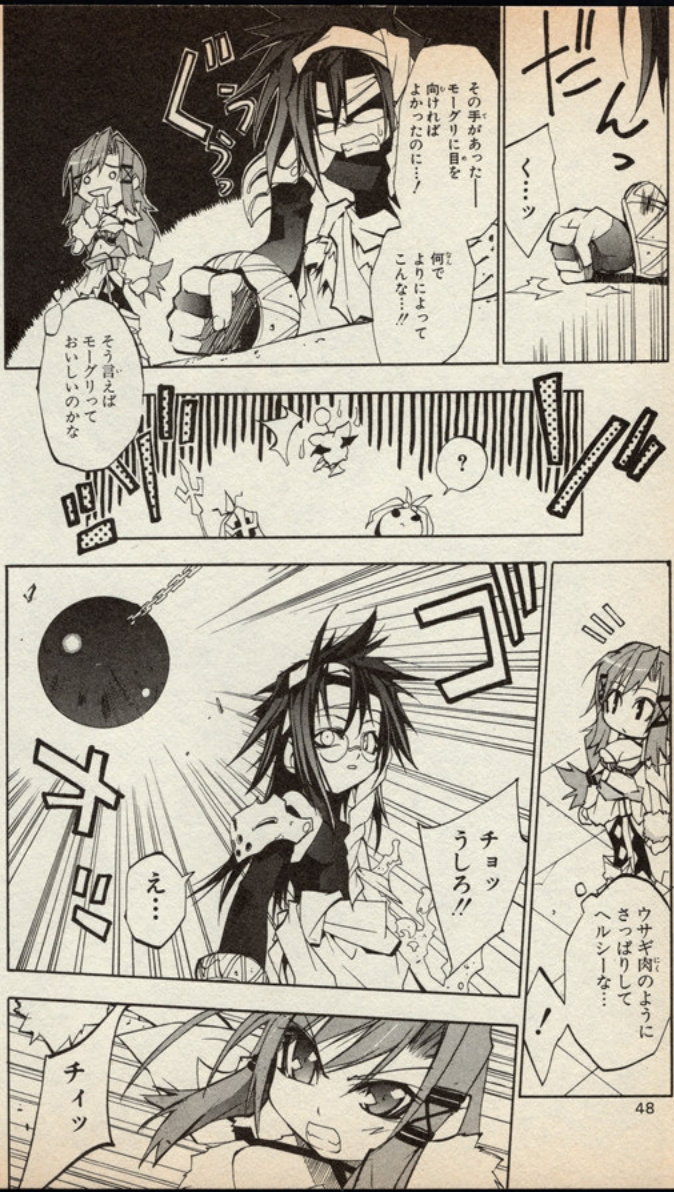
ちがう！
瘴気に耐性を持つ
魔物の利点を
取り入れる事で…
アンタのやってる
事はそういう
事じゃない！
そんな
研究する
くらいなら
私たち…
ショウキの中で生きてます。
モーグリになる
研究でも
してた方が
まだ
マシよッ!!!

14月目

撃墜


ミルラの木が
壊された時
あの剣が
ミルラの木の力…
雫を吸収して
いたように見えた
けど
そう言えば
あの剣
クリスタルケージに
似ていた気がする
待ちなさい
フォックス！
クリスタル
ケージから
離れ過ぎ
てる！
あ…
ゴメン
クレア……
もっと注意して
動かないと
瘴気にやられて
しまうわよ！

ッ！
本来クリスタルは瘴気をはらい
ミルラの雫で力を保つ…
あの剣は
もしかして…
魔物の身体にとって
瘴気ってのはとても
重要な要素――
間違い無い
白騎士は
クリスタルの瘴気を
はらう力を…
瘴気と
瘴気を身体に
含む魔物を
操る力に
変えている！


だんっ
く…ッ
その手があった——
モーグリに目を向ければよかったのに…！
何でよりによってこんな…!!
ぐぐぐっ
そう言えばモーグリっておいしいのかな
？
ウサギ肉のようにさっぱりしてヘルシーな…
！
チョッうしろ!!
え…
ゴゴ
メガ
チィッ

ハイ！
ガシッ
おホッ!!?
ゲフッ
ゴリ
ズギャー
何よ一体…
…どういう事よ
何でアームストロングが動き出す訳？

ズズン…
！姫様
どちらへ!?
スニ
少し…地下の
様子を見て
来ます
ピクッ
なりませぬ！
ここにいる民達の
心情を察する
ならば
どうか彼らの
側についていて
くださるよう
だからこそ
行くのです
民を危険に
さらす訳には
いかないから
ドン
ドン
粘菌を
触手の
ように！
頭部だけの
クセにこんな
攻撃してくる
なんて

ビュー
でも！
セルキーのアタシを
捕まえられはしない！
はぁ！
あれ？
バク

毒霧!?
ああ!!
甘かった
魔物と戦うのって初めてのくせにこんなのに勝てるワケ無かったんだ
あ…っ
だけど…
私はジーベークのように魔法が使える訳でもフォクスやクレアみたいに武器を持って戦える訳でもない
デ・ナム…

逃げる事なら負けない！
動けるってのならしっかりついて来なさいよ！
こんな所においとく訳にいかない
アンタを外へひきずり出してやる！

ゴリ
ドカ
!?
槍が…
折れ…
!
クレア!!

――ッ!!
どけえ
ええっ!!
クレア
大丈夫!?
ええ
小手が
こわれただけ
……!

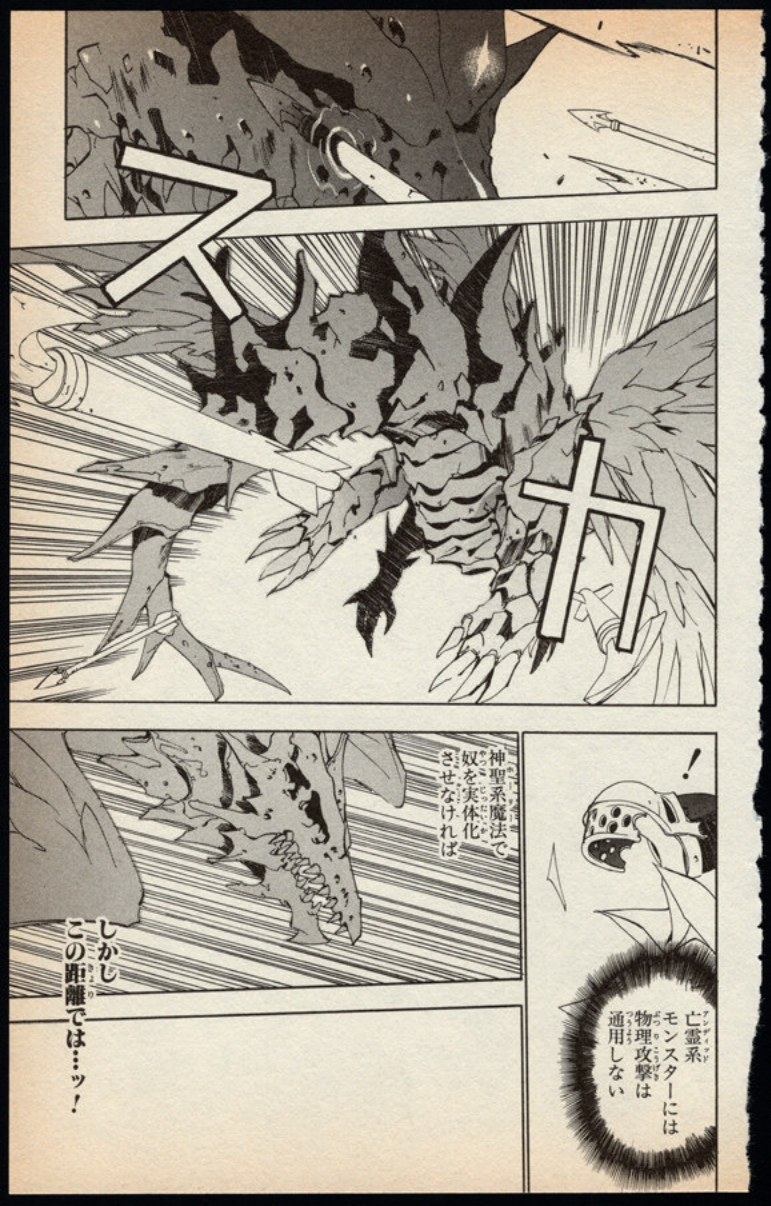
フォックス！
そいつまだ…
再生(さいせい)!?
サンダガ!!!

ゴオオ
オオ…
何だと…?
あれほどの魔力を…
ケガは無いかティバの
我輩はシェラの里キャラバンアミダッティ
マクシーム殿の要請により加勢にまいった
――随分派手なカミナリだと思ったらあんた達かアミダッティ
ガラ
ガラ
まぁおかげでわかりやすい目印にはなったけどさ

ロルフ＝ウッドさん
来てくれたんですね！
遅れて済まなかったな
完成まで手こずっちまって
ドラゴンのきばを材料に鍛えたんだ
他の素材はまけとくよ
ホレ。
ポイ
ドラクーンスピア
そこの兄ちゃんのアルテマソードにゃ負けるが折れたアイアンランスよか使えるはずだ
しばらくぶりね！シェラキャラバン
ぎゃあああ
うむ だがゆっくり話をしている場合ではない
あーいたいたアルフィタリアキャラバンの二人
ゼー
ゼー
ゼー
…何だよいきなり…

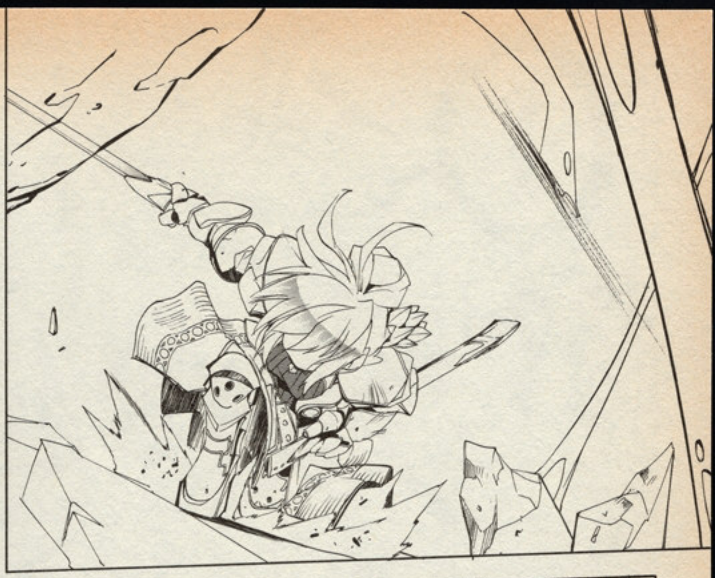
ケアル!!!
つい先ほど
他の3人も
回復させた
心配しなくていい
オラア!
くらえ
ギャー
ハハハ
かたじけない
アミダッティ殿
キュ
さて…
これから
どうしたものか
瘴気を喰らい
再生する
魔物か
ズグ
ズグ
またやっかいな
ものがいた
ものよ
――あの
剣の力です

リバーベル街道のジャイアントクラブの時と同じ…
以前見た事がある
あの時も彼が近くにいたはずなんだ
全てあのクリスタルの剣のせいだとしたら
彼を倒せば全て終わる！
ガシーン
ドラゴンゾンビをねらえ!!
あの者をひきずり落とすのだ!!
ドシュ


ズカ
！
亡霊系モンスターには物理攻撃は通用しない
神聖系魔法で奴を実体化させなければ
しかし
この距離では…ッ！

今 外の戦況は
どうなってる!?
いきなりそんな奴
持ち出して
大丈夫なのか
わからないけど…
ここにおいて
おけば避難してる
人達が危ない
巻きこまない
ように外へ
誘導しないと
……
!?
…な…

きゃあああッ
しまった!!
うっ
スーッ
――ッ!?
ル・ジェ……!



武の民の城で
勝手は
許しません

フィオナ姫…
戦えたんだ?

わっ

遅いと思ったらこんな事になっていたんですね
シーベーグ！

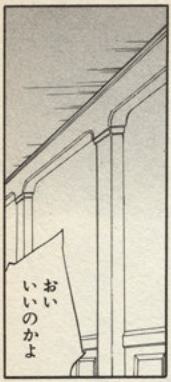
姫！
！
アームストロングが…

アンタ腕のアサアサが何かいいわ！
白騎士のクリスタルの剣の力がここまでおよんでいるのでしょう

私がアームストロングを外へ誘導します
ちょっ危険過ぎるってそんなの！

ヒュー
ヒュー

伊達にリルティ王家の血が流れている訳では無い
！
姫はまぎれもなく武の民の姫なのだ
ここは彼女達にまかせて行きましょう
あっ待ちなさいよシーベーグ！
…ごめんなさい


おい
いいのかよ

貴方の居るべき場所へ帰りましょう

我々には他にやる事があります

本当にあんなの姫サマにまかせるのか？
オレ達も…

その左腕——

デ・ナム
それには貴方の協力が必要です……しかし
敵は魔物を含め瘴気を含む肉体を操る力がある

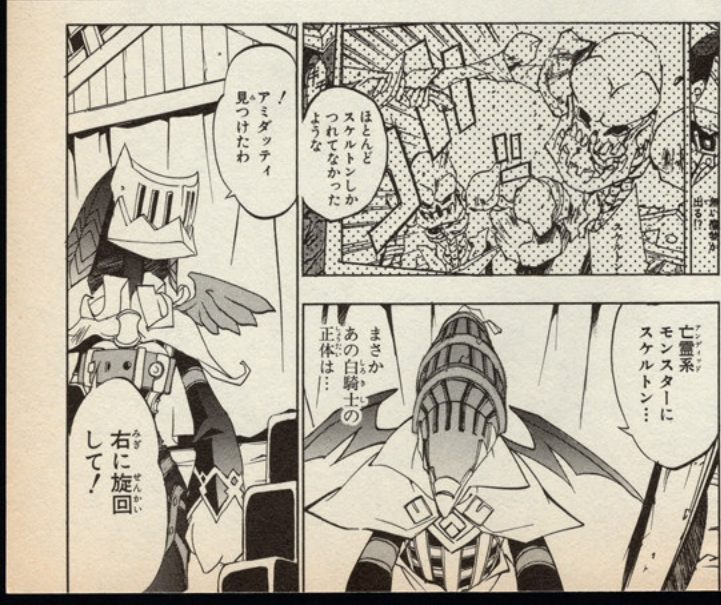
もう覚悟があるなら今ここで
切り捨てていただきたい
!!

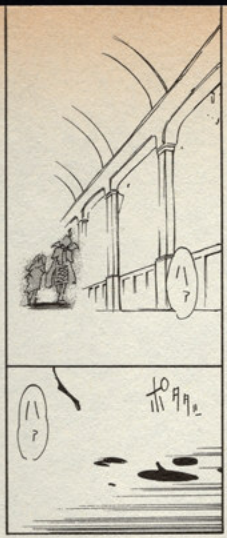
……へっ
仕方無えな……

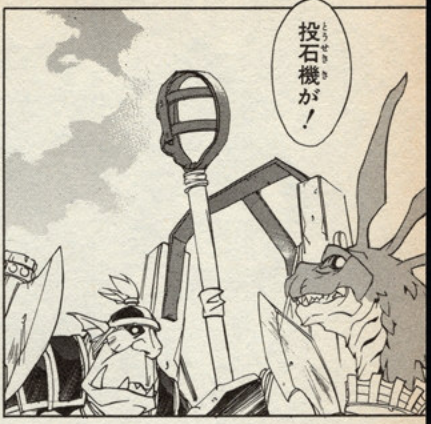
これからどうするんです？
アメグト
ずっと見ていたが奴らなかなか便利なものを持っていたな
ガラ
ガラ
それを探す
ガラ

ふき飛ぶがいい!!
ぐうっ
これでは近付いた瞬間も手が出せん
どう言う事だ?
え?
あのドラゴンゾンビ…
ドドド

クリスタルの剣に関係無く白騎士の意志に従っているのか…？
もしかして亡霊系モンスターである事に関係が
そう言えばジャック・モキートの館が襲撃された時…


亡霊系モンスターにスケルトン…
まさかあの白騎士の正体は…
ほとんどスケルトンしかつれてなかったような
！アミダッティ見つけたわ
右に旋回して！


ハァ
ポタタッ
ハァ


投石機が！

大丈夫ですか？デ・ナム
へへ…かなりキツイが自業自得ってやつさ

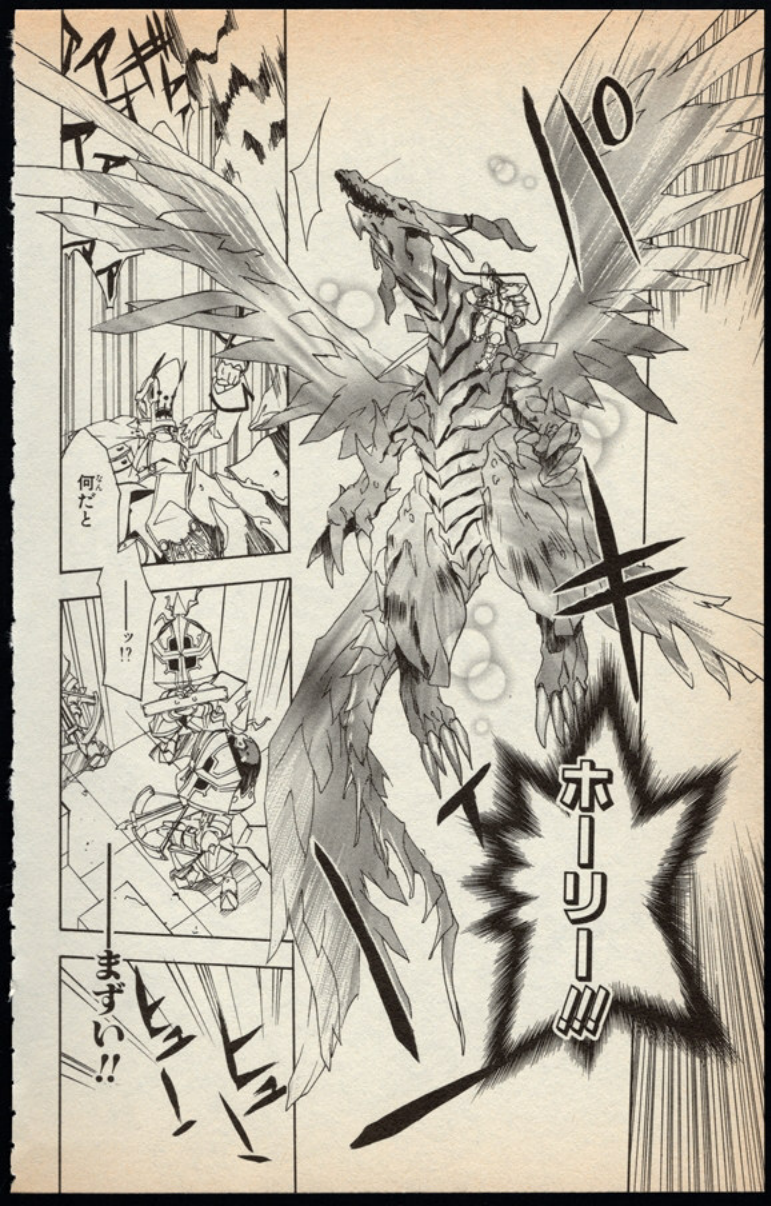
ブリザドで左腕を冷凍しておけば治療出来た時繋げられるかもしれない
ケアルで傷を塞げられませんからしばらくは…

オレの事はいいそれより…

格納庫に予備の砲台がある
ハァ
そいつで敵大将を撃ち落とすんだろ？
ハァ
……
神聖系魔法や重力系魔法は単一の魔法同士を掛け合わせる事でしか発動させられない
どうしても彼の力がいる…
デ・ナム…
ゴロ
ゴロ
ゴロ

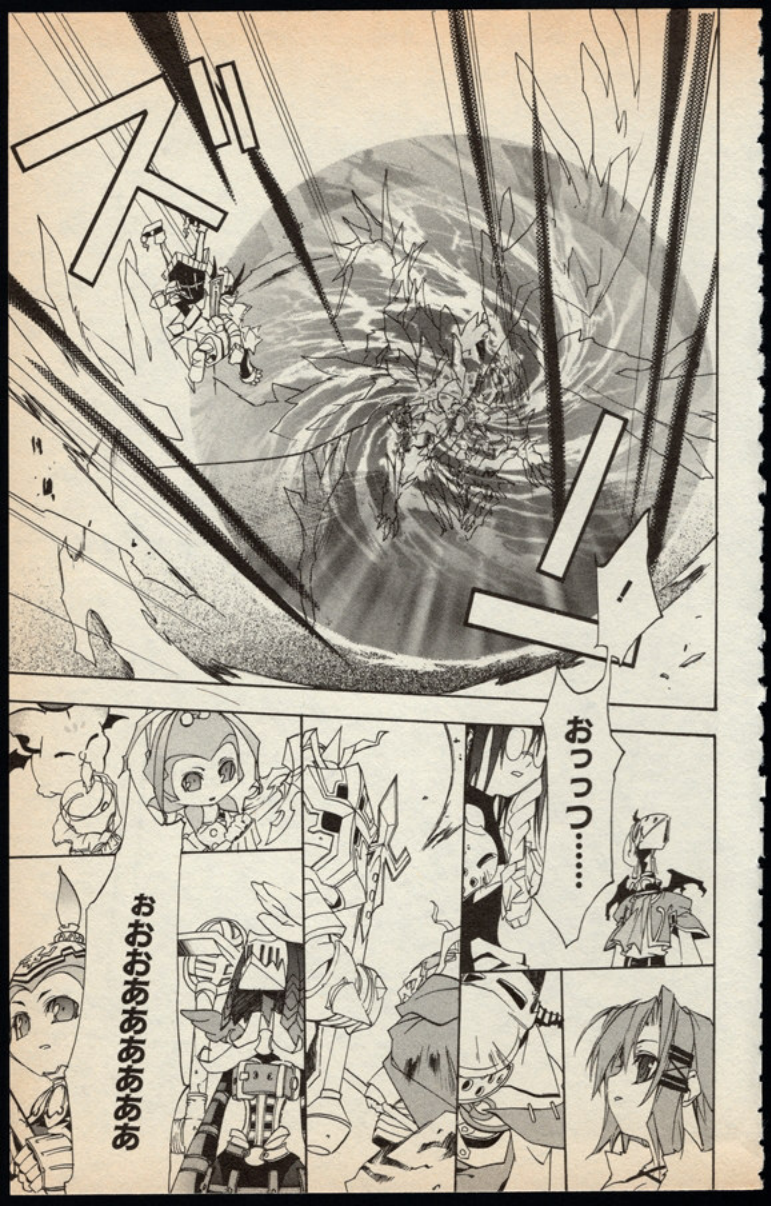
ガコン
この音は…
…まかせたぞ シーベーグ
来るがいい！ シェラの里の魔術師 マクシームが 相手になろう！
ファイラ!!

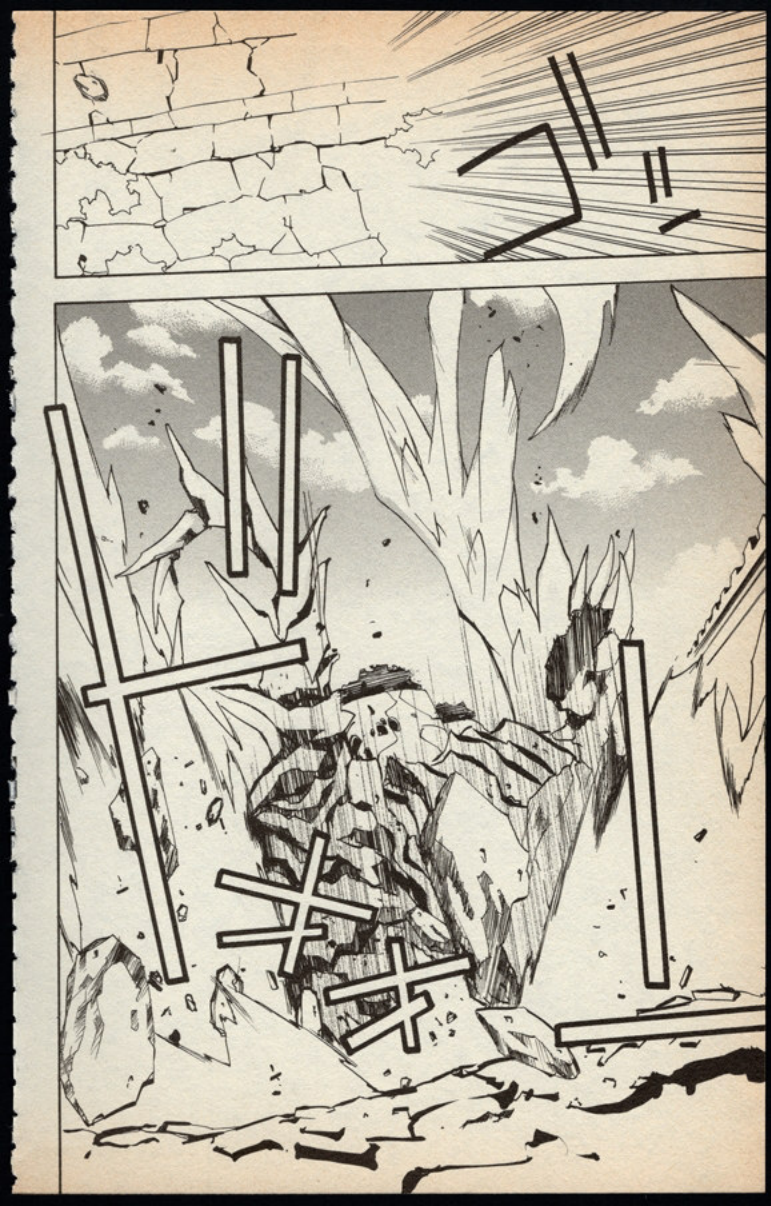
この若僧がぁぁ!!
ぬうッ
!
デ・ナム今です
おう!

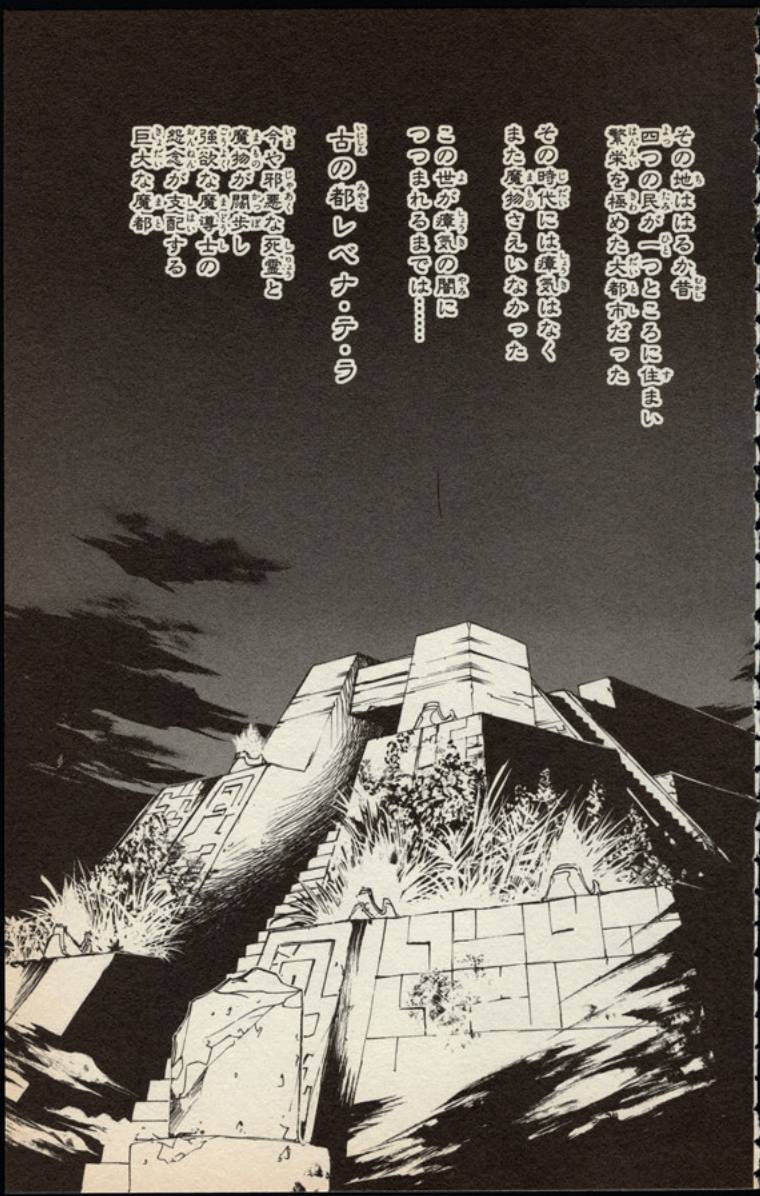

ホーリー!!!
何だと
――ッ!?
――まずい!!

ぐッ
くそッ
一度距離を…
フン

貴様…
シェラの里の
キャラバンの…！
我輩を
知っているか
だろうな…
お主なら
投石機で
自ら打ち上げ
られてくるとは…
アミダッティ…
さすがユーク一の
変わり者よ
はあぁッ
重力魔法——!!


ズ
！
おっっっ……
おおおおおおおおおお




その地ははるか昔
四つの民が一つところに住まい
繁栄を極めた大都市だった
その時代には瘴気はなく
また魔物さえいなかった
この世が瘴気の闇に
つつまれるまでは……
古の都レベナ・テ・ラ
今や邪悪な死霊と
魔物が闊歩し
強欲な魔導士の
怨念が支配する
巨大な魔都

15月目
過去と昔と古の敵

ドラゴンゾンビが…
落ちた…
グブッ
ガあああ
!?

魔物達が一斉に…!?
忌わしきアノ剣を叩き壊せ!!
殺セ
バキ
……ッ!!?

ボロ
ボロ
ボロ
ボロ
!?
…?
!
周囲の魔物達が…
…消えた?
使えぬ奴らよ

ゴーレムと
亡霊系モンスターを
残して…

遊びは
終わりだ
潰してやる

これで確信が
持てた どうやって
ここまで来る事が
出来たのか謎だが

魔法生命体
ゴーレムの量産と
死霊共を従える
事が出来る者
なぜかここ
10年ほど
見なくなって
いたが
間違いない

廃都レベナ・テ・ラに
君臨する亡霊達の
王にして邪悪の
魔導士
リッチ
ザクッ
！
な…
……
さすがシェラの
里のキャラバン
幾度となく我が
都を訪れては
引っ掻き回して
くれただけの
事はある

歴史についての探求が趣味でね
あの遺跡は正に古代文明の遺産と言える
しかし亡霊とはいえこうして過去の偉人と対話できるとは光栄の極み
フォックス！
あれは…
レベナ・テ・ラでは錬金術が盛んだったと聞く願わくば古代技術について聞かせてもらいたいものだが…
ストッ
チャリ
その肉体はどこで手に入れた？
!?
くだらん

あうっ
ドッ
フォックス殿!?
は…ッ
アー
!!
結界!?
フォックス殿だけを…ッ

フォックス！
アミダッティ
望み通りお前にも
後でたっぷりその
体に教えてやる
冥土の土産とは
言わない
ゴオオ
貴様等全員
亡霊となった後
我が奴隷として
永遠に従えて
やるのだからな
クリエイト
オーブ!!

——姫？
どうしたんです
早くソレを
何とかせねば
…そうなんですけど…
これから
どうしようかと
思って…
考えて
なかったん
ですか!?
外へ誘導する
んじゃないん
ですか!!
でも何かコレ
全然動かなく
なっちゃいました
し…
！
…皆さん早く
避難している民を
城から逃がして
ください
ゴリ
え…しかし
城の外は…
このままここに
いては危険です
早く!!

痛えェ
痛エヨオ〜

……う

あのガキ
許せねえ——

オレを
不意打ちで
真っ二つにした
あげく川に
落としやがった

ゲヒヒヒ
ヒ…

うわぁ!?

ヒャッヒャッヒャッ
リバーベル獄道
以来だな

あの街道で
拾った

あのキツネから
聞いたよ お前を
ずっと捜していた

まだ魔に
喰われた訳では
なかろう

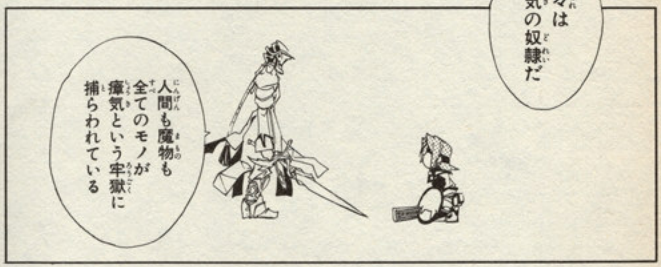
そいつはお前が
初めて斬った
魔物の亡霊だ

スゥー!

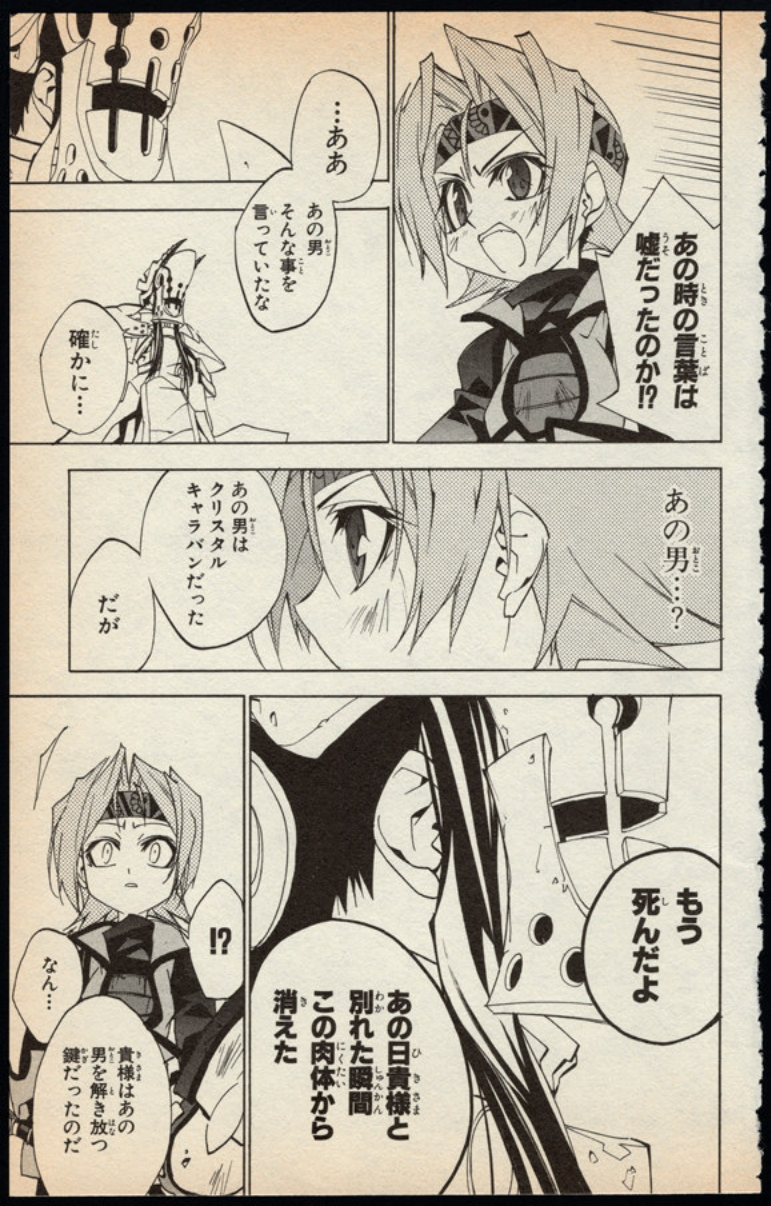
ヒヒッ

フォックス！
どうして!?
ふれられないッ
…殴った？
結界はリッチの身を守る為の常套手段だ
しかし他の者を巻きこむとは…
くっ
結界を解く方法はないのですか!?
方法は…あったハズ…だが10年前と変わらないのなら
あの時は確か…
…？
ちょっと…

ゴゴゴゴゴ
こんな時に忘れたなんて言うんじゃないわよね!!?

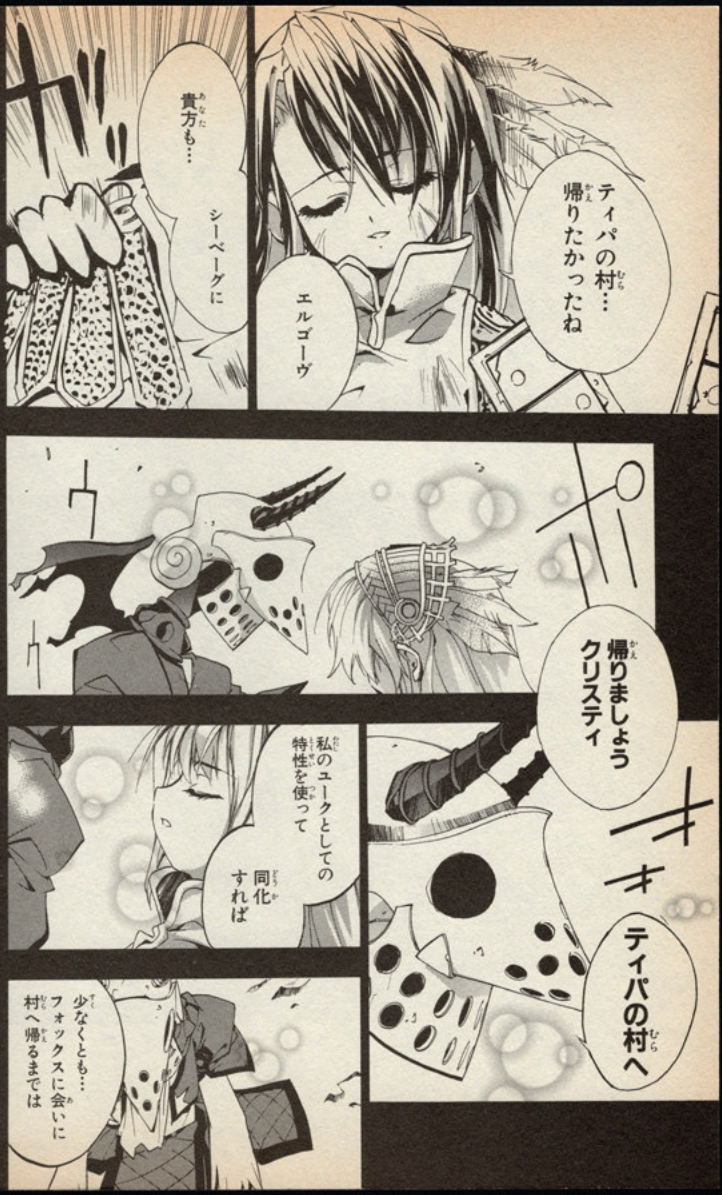

我々は瘴気の奴隷だ
人間も魔物も全てのモノが瘴気という牢獄に捕らわれている

全ての人間は家畜であり
魔物は家畜を肥えさせる為の餌
…貴方は
初めて会った時確かに人間だと…
元クリスタルキャラバンだと言っていた!
でも今は魔物を従えて人間を襲ってる


あの時の言葉は嘘だったのか!?
…ああ
あの男 そんな事を言っていたな
確かに…
あの男…?
あの男はクリスタルキャラバンだった
だが
もう死んだよ
あの日貴様と別れた瞬間この肉体から消えた
!?
なん…
貴様はあの男を解き放つ鍵だったのだ

そして
もう一つ…
この体に残る
あの女の記憶を
消す鍵を…
10年前レベナ・テ・ラ
クリスティ!!
エルゴーヴ
ゴメン…もう
ケージ運べそうに
ないや…
クリスティ…
エルゴーヴ
悪いけど貴方が
ケージを…
クリスティ
ってゴメン
そうだった…

エルゴーヴ
…
腕…さっき無くしちゃって片手で武器しか持てなかったんだったよね
雫…まだ少ししかたまってないのに…
これじゃティパの村にも帰れそうにない…
困ったな…
このままじゃ村が…
我々に何かあればファム大農場のキャラバンがきっとティパの村に知らせてくれる
村長も…すぐ新しいキャラバンを送り出して無事新しい年を迎えられるでしょう
そっか…よかった
クリスティ！
これでもう村の事も…私の…子供達も…
…フォックス


ティパの村…
帰りたかったね
エルゴーヴ
シーベーグに
貴方も…
帰りましょう
クリスティ
ティパの村へ
私のユークとしての
特性を使って
同化
すれば
少なくとも…
フォックスに会いに
村へ帰るまでは

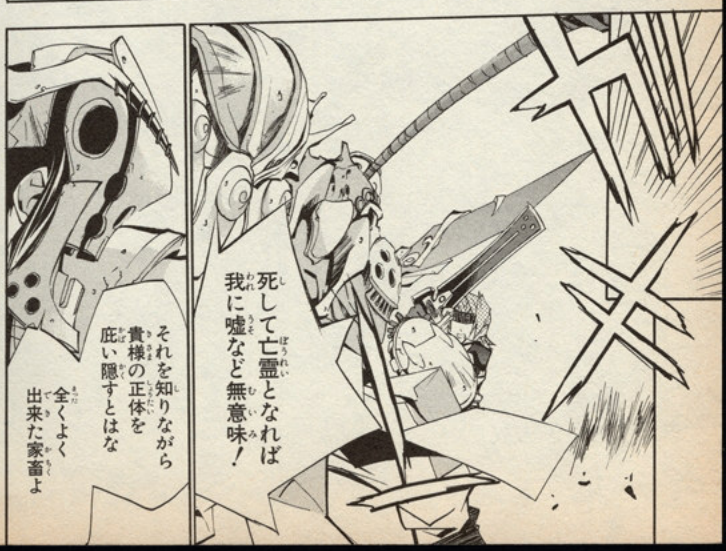
命をつなぎとめられる…
!?
オウ…
ホウ
オウ…
同化か…なるほどその手があったな…
こいつは…!!
亡霊となってから久しく忘れていた実体を持たぬユークの特性
故郷で死にたいが為に己を捨てるか
面白い…
新たな片腕とひきかえに我が魂の拠と成れ

全てうまくいくはずだった
ティパの村へ行き二人の悲願を果たすそれだけでこの体は我が物となる
だが貴様に近い気を放つあのキツネが我を欺いた
そのキツネは肉体に残る女の意識と通じ…
我を村から遠ざけるようになった
貴様がクリスタルキャラバンとしてティパの村を離れるまで10年待った
貴様を殺せば悲願は絶望となり〝魔〟が女の記憶を無に還すだろう

……ふざけるな
その体から
消え去るのは
お前の方だ!!
アミダッティから…
受けとった何らかの
アクセサリルによる
能力強化か…
ならばやって
見せろ!!
!?

ジュニア!!?

今やそのキツネは
亡霊となり
完全に我が
支配下にある!
ジャック・モキートの
館の後 意識だけ
貴様に会いに
行っていたそうだな!!

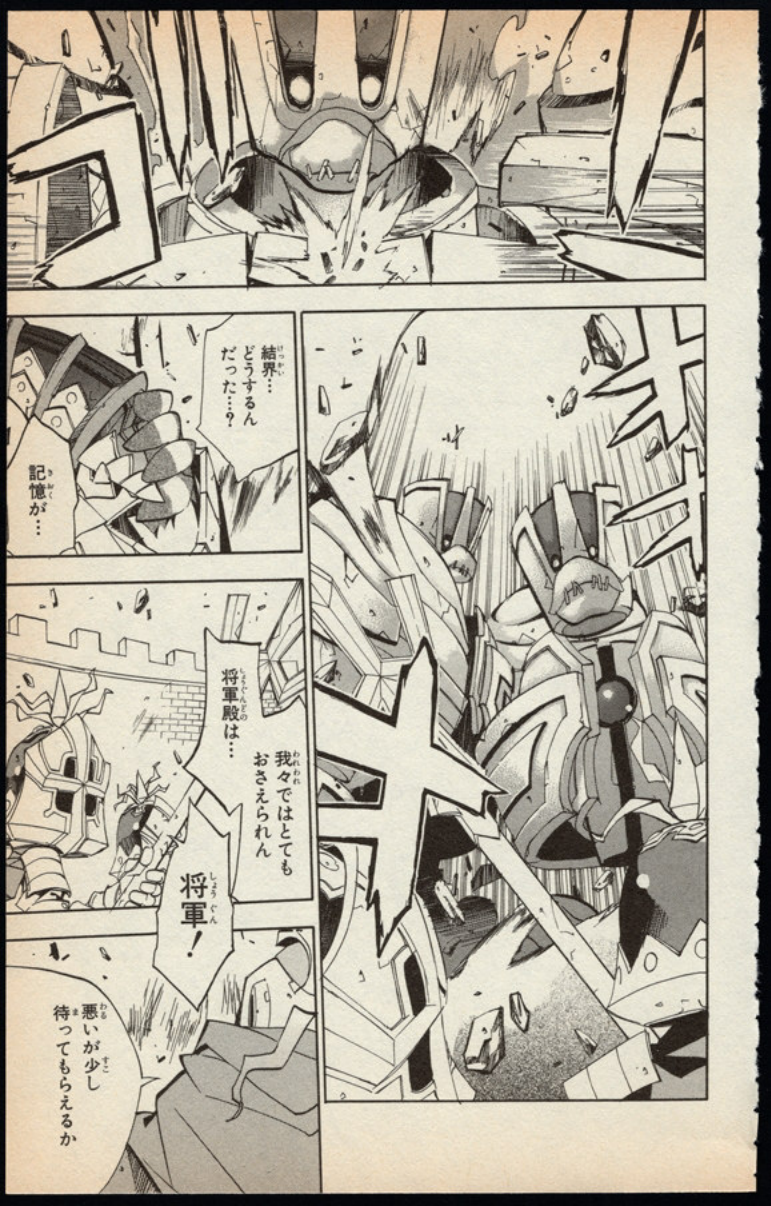

死して亡霊となれば
我に嘘など無意味!
それを知りながら
貴様の正体を
庇い隠すとはな
全くよく
出来た家畜よ

望み通り
手を下して
やったわ!!
…まれ
そうだ!
貴様の母の
体に宿りしも
お前は
僕の母さん
じゃない!!
我は
レベナ・テラの
支配者にして
最高の魔導士
黙れえぇぇ!!
我が前に
平伏せ!!
チェイン
ライトニング!!

我が支配を
受け入れよ!!
ガラ
ガラ
嫌だ!!
アクー
パリ
雷耐性に
加え
自動回復!?

ドル
ブン！

行け！
ジュニ…
フォックス…


結界…
どうするんだった…？
記憶が…
我々ではとてもおさえられん
将軍殿は…
将軍！
悪いが少し待ってもらえるか

上客が来てしまった

ぐつっ…

――白騎士に飼い馴らされてしまったか

哀れよな…
我が因縁の宿敵
リザードマンキング
戦友遠の敵とはいえ
あの時感じられた
気高さも無い

願わくは別の形で相見えたかった

ゴゴゴゴ

ガラガラ
皆いそげ!
城から離れろ!!
これは…!
ア…アームストロングが城を…
姫が…!

……!!!

支配だ
世界の全てを覆う瘴気
我はこの手で支配した
他の支配者などありえない!!
体が…動かない…
……う
他の誰でもない

フォックス
フォックス
フォックス!!
我が支配者だ!!!

そうだね
ジュニア
約束(やくそく)だ

この
餓鬼がアァァ!!
ギュル
バカな!!
亡霊でありながら
我が支配を
逃れただと…!?
トーク
きっ
貴様!!

何をしているアミダッティ!!
結界の力を供給する二つの宝玉を破壊するのだ!
ソール殿!
そのゴーレムの胸の球体を壊せ!!
おぉぉおお!!!

わああ
母ちゃあああん!!
レオン!
わああ
ああっ!!

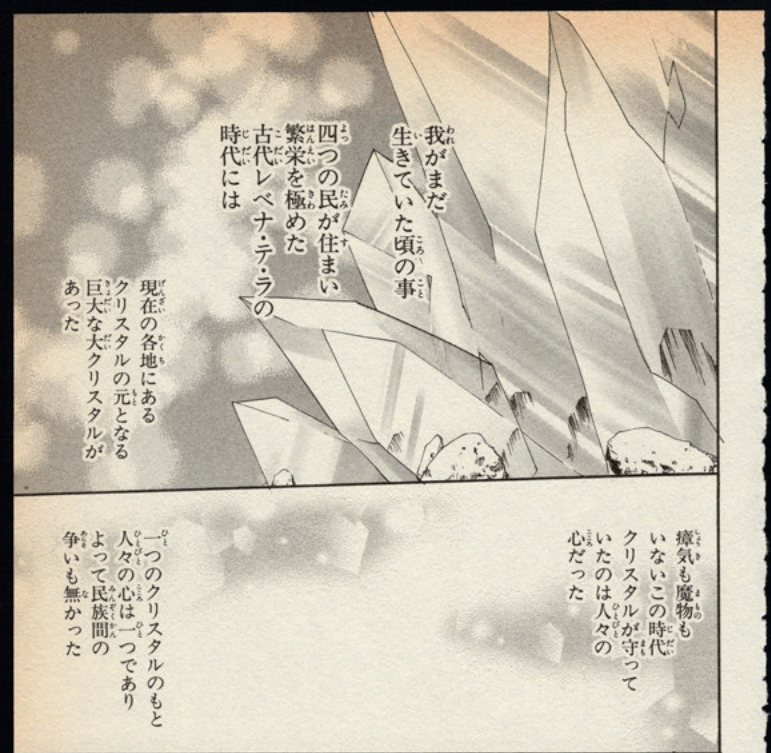
くそ…
やめろ!!
貴方の好きには
させない
貴様の出る
幕は無い!!
何故今さら…
私の
フォックスに
手を出さないで!!!
あの女の意識が
我にふれキツネが
女を呼び覚ました
黙っていろ…
キサマ…
貴様もあの
魔物共のように
我が支配から
抗うか…!!

要らぬ!!

メテオ!!!

人の肉体を
憑代とし
レベナ・テラを
離れた我は
この10年
世界を旅して
気付いた事がある
決してその姿を
現さぬ〝魔〟の
存在を――

16月目
クリスタルキャラバンとして



瘴気も魔物も
いないこの時代
クリスタルが守って
いたのは人々の
心だった

一つのクリスタルのもと
人々の心は一つであり
よって民族間の
争いも無かった

一筋の光が
大クリスタルを砕いた
空から落ちた隕石が
地上を変えた
隕石と共に
この地上に舞い降りた
災厄が世界を
瘴気でつつみこむと
99%の人間が死に
人々は悲しんだ

瘴気とともに
生まれたその存在は
人々の悲しみと絶望の
「思い出」を喰らい
魔物を生み出す

魔物と瘴気によって
戦乱の止んだ世界にも
悲しみは絶えず
悪食な〝魔〟は人々の
大切な記憶までも食い荒らした

10年…この
世界を見てきて
その存在に
我は気付いた

〝魔〟の前では…
我も一つの駒に
過ぎないだと…？

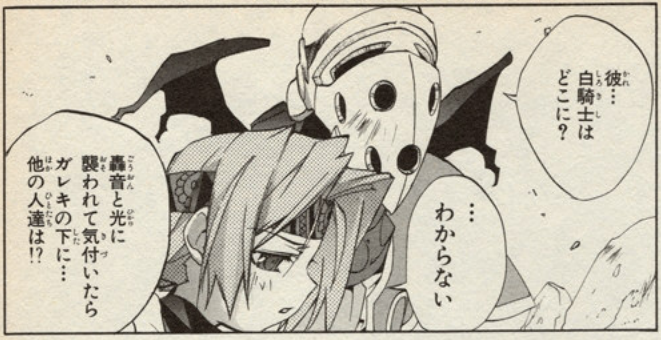
ゴッ

支配者は
我だ…そのような
存在は認めぬ

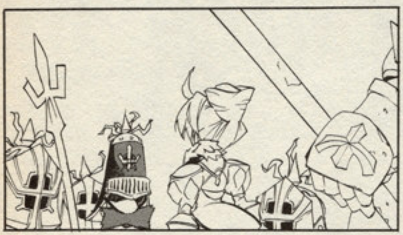
全ての人間を
殺せば思い出
など残らない

我が貴様を
支配してやる…！

ガラ
ぐ…っ
はぁ…
いてて…
フォックス！
立てますか？
うん
大丈夫


彼…
白騎士はどこに？
…わからない
轟音と光に襲われて気付いたらガレキの下に…
他の人達は!?

心配ありません
幸い直撃には至らず…
不思議ですが
皆生きてます
母さんが守ってくれたんだ…



黒騎士…
そう 彼が…
一言お礼を言いたかったのですが…
仕方ないですね

手の空いてる方は負傷者の手当てを…

フィオナ姫

フォックスさん！よかった貴方も無事だったのですね！

少し…話をしたい事が――……

ミルラの木を破壊しアルフィタリアを襲った白騎士…彼の正体は僕の母さんだった

そのせいでこんな事に…！

あの…

この惨状何か手伝いたいのはヤマヤマなんだが

悪いが俺達はもう行くぜ

ひと段落ついたようだしさまだ雫がたまってないんだ

マール峠の為に早く雫を集めたい

言いそびれたーン
ポン

シーベーク…
ニィ

貴方が結界の中に取り込まれた後に何を知ったか大体わかりますが
今は話さない方がいいでしょう
!?
でも…

その通りだ
ゴゴゴ

まだ終わった訳では無いのですから

奴はまだ生きている
！
君達はジャック・モキートの館の…！
ずっと白騎士の先導する魔物の群の中に潜んでいた
ティパの村のキャラバンよ

奴はお前達の村に向かった
貴様を仕留め損ねた白騎士はこの地を逃れたメテオの攻撃にまぎれてな
でも…何でティバの村な訳？
ここからならシェラの里やマール峠の方が近いのに
白騎士は…
何だって…

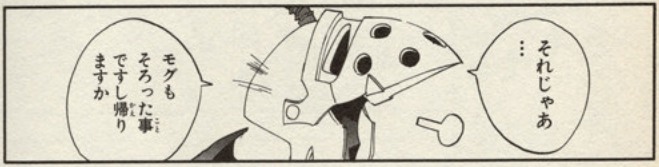
ティパの村で
母さんと僕の再会が
母さんの悲願だと
言った
そして僕の命を
奪う事でも
白騎士は肉体を
完全に支配する
事が出来ると…
僕の命と
ティパの村
そのどちらか
片方が
欠けるだけで
白騎士は
自由になる！
ドラゴン
ゾンビが
消滅した
今となっては
白騎士の
移動手段も
どれほどの
速さで村に
着くかわからない
クァールの
せなか…。
……
こちらも
速いに越した
事は無い
我々の背中に
乗るといい
…お願い
します
フォックスさん

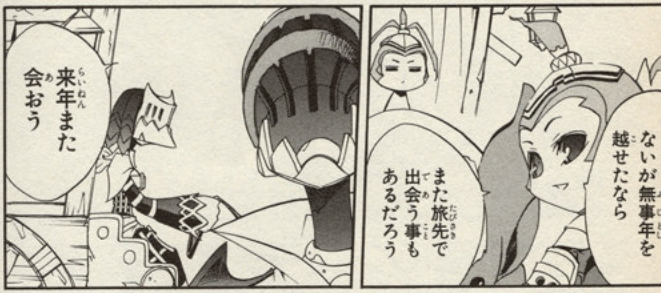
御主人様の
敵をとってください
急いだ
方がいい
貴殿等の
馬車は我々が
後日責任を持って
ティバの村へ送り
届けよう
フォックスさん
！

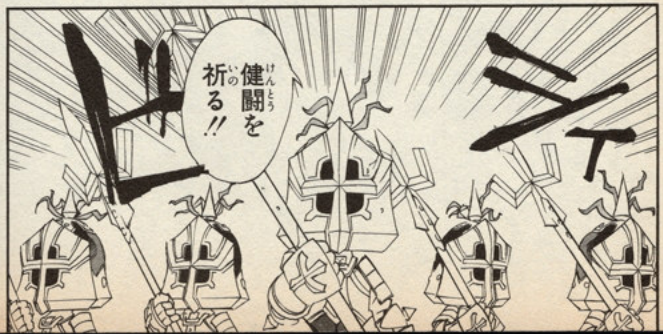
お気を付けて…
きっと故郷を
救ってください
また集めの
旅にこちらへ
立ち寄る事が
ありましたら
今度は
ゆっくりして
いってくださいね
ニコ
それから
――はい！
あ～
あ～
ボクは食べても
美味しくない
クポ――!!
ひえ～
ひえっ
何を言う！
そのまるまるとした
白い体にまっ赤な
トサカ(?)
ニワトリのソレと
何が違うと
言うのだ!!
アノコったら
すっかり
元気になって…
全然違う
クポ!!

……
チャリ
デ・ナム!!
ドカ!!
ハイ!!?
装着。
あれ？ ここは一体…
アンタ 左腕大丈夫なの？
ああ… 保存しておいた 左腕がガレキの 下だし
ケアルで 塞いじまった からもう 痛みは無ぇよ
ま！ これくらい 覚悟してなきゃ 実験台にしよう なんて
ゴゴゴ

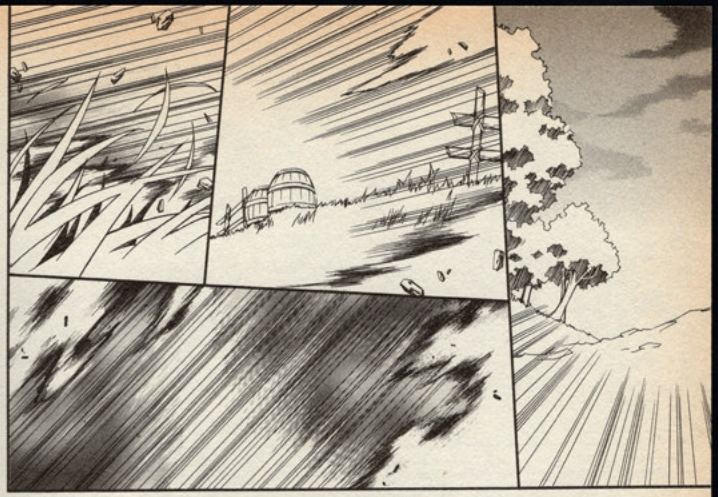
話は聞いた！
デ・ナムお前はもう
実験する事は
許さん！
そっ そんな
師匠！
ぷるぷる
当たり前だ！ 本来なら
破門にするところだが
ほうっておいたら
魔物と生活すると
でも言い出しかねん！

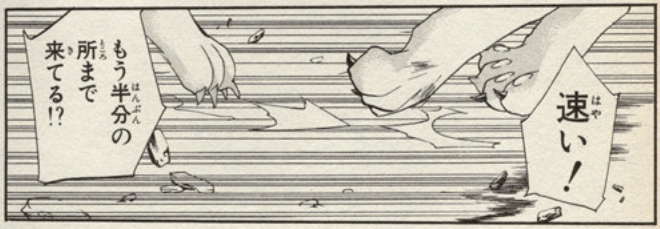

それじゃあ
…
モグも
そろった事
ですし帰り
ますか

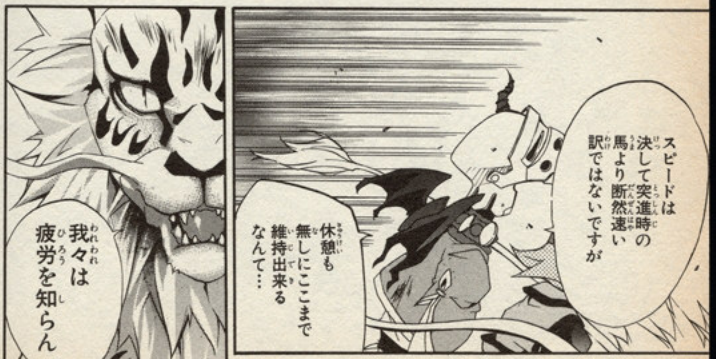

状況は良く
ないが無事年を
越せたなら
また旅先で
出会う事も
あるだろう
来年また
会おう


健闘を
祈る!!

デ・ナム
お前が瘴気の中で
生きる術など
探さずとも
いつか彼ら
クリスタル
キャラバンが
世界から瘴気を
取り払ってくれる
日がくるだろう
……
出発――!!
そうかも
知れないな……




速い！
もう半分の所まで来てる!?


スピードは決して突進時の馬より断然速い訳ではないですが
休憩も無しにここまで維持出来るなんて…
我々は疲労を知らん

動物とは
全くの別物
なのだ
我々は
何者かに
生かされた
存在だからな
――？
…トンベリ
コックの奴は
敵を討って
欲しいと言って
いたが

主はもう
幾度となく
死んでいる

ミルラの雫を
求めるキャラバンの
来訪は当然
何百年も前から
あった事
その過程
キャラバンによって
命を落とす
事もあった
おそらく
他のミルラの木を
宿す地も同じ
なのだろう
人を襲い
戦って命を
落とした魔物が
――
一定の期間を
置きミルラの木の
周りに命を得
再び人を襲う

魔物は
復活する!?
そう言えば
マクシーム様は
オークキングの
自爆する習性を
知っていた
実際に
オークキングが
そうして死んだ事を
誰かが確認して
いなければ知り得ない
情報なのに

戦う事を
やめてから
我々は考えた
魔物とは
何なのか

そう考えていると
我々は何者かの
手によって生か
された存在の
ような気がして
くるのだ

ああ
でもよかった
じゃあジャック・
モキートさん達も
生きてるんだね!

全ての記憶を
失ってな
え……!?

つまり今度から
我が主の館へ
訪れる時は
正真正銘の
敵同士
そんな…
主が戦うのなら人間は我々の敵
毛がウザイ
あ～っ!
我々がいくら今のこの時を覚えていたとしてもな

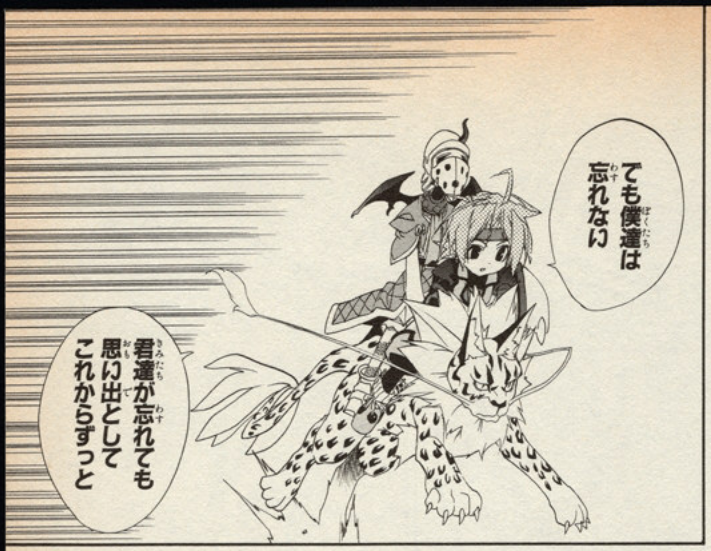
それでも我々がお前達に背中を貸すのは
我々魔物を侮辱し主を貶めたあの者を許せないからだ
お前達の為などでは無い

だから今度の戦いで我々が死んでも
お前達が気にする事は無い また主の元へ還るだけだ

だから約束して欲しい
もしこの戦いで我々が生きていたとしたらお前達の手で
我々を殺してくれ

しかし貴方達の記憶は…
結局敵同士となるならば記憶など無い方がいい

……
…わかった

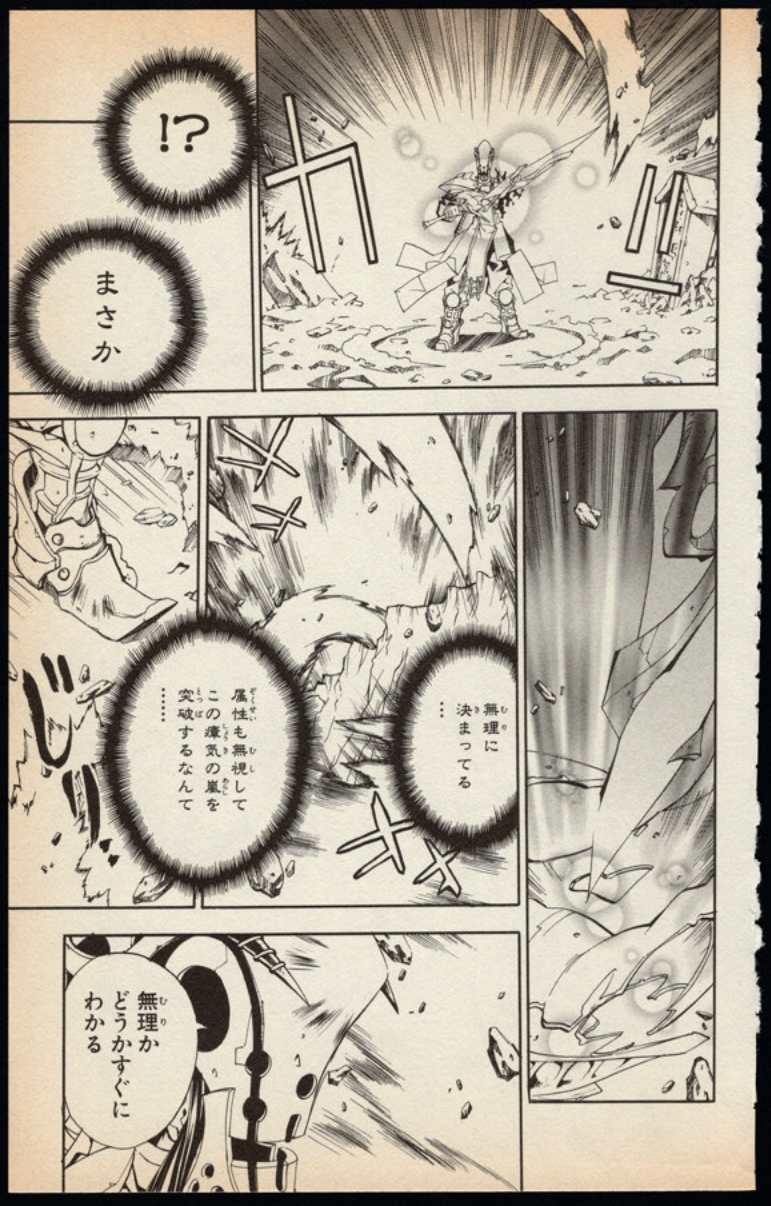

でも僕達は
忘れない
君達が忘れても
思い出として
これからずっと

これで良し！
絶対に
きゅっ♡

ナニさらすんじゃワリャ～

フン…

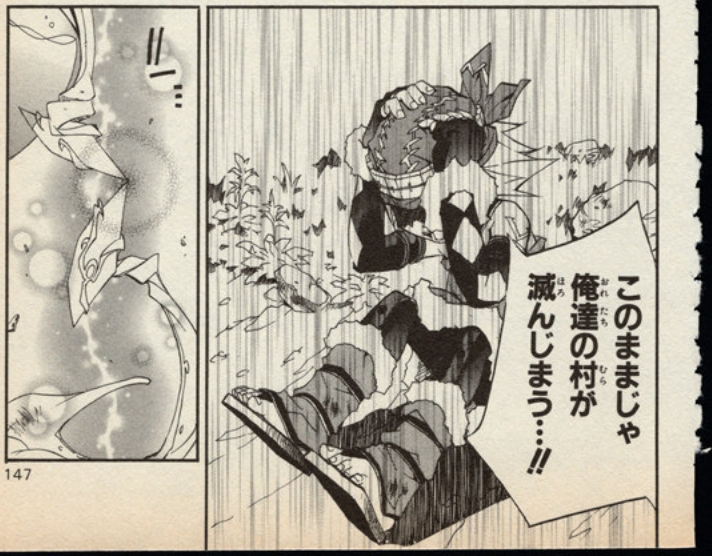
ゴオオ
瘴気ストリーム
ぐっ
おのれ…
そんな大きなクリスタルを持って地上からこの地は越えられない
無茶よドラゴンゾンビで遥か上空からならいざしらず
貴方はティパの村へは行けないわ！
スー
黙っていろ
貴様は間もなく消滅する


!?
まさか
無理に
決まってる
……
属性も無視して
この瘴気の嵐を
突破するなんて
……
無理か
どうかすぐに
わかる

大人しく
自分の故郷が
滅ぶのを
見ているがいい

!
あれは…
どうする？
なァ！
どうするよッ！
うろたえてんじゃ
ないわよ！
頼れない男ね！
あ――
あの二人!!
よくもまぁ
こんな所で
のうのうとッ
ゴゴゴゴゴゴゴ
今こそ雫を
横取りされた
恨みを……!!
のうのう
なんて雰囲気
でもない
でしょう
何か
困っている
ようですが
…
あんた達は…

雫が
集まらない!?
あの日
リバーベル街道で
採ってから
全然採れて
ないんだ
もう5か所も
探しまわったのに
ミルラの木が
見当たらない
本当に
やばいわ…
白騎士が
ミルラの木を
枯れさせた
せいだ…
もう時間が
無い!


このままじゃ
俺達の村が
滅んじまう…!!
!!…

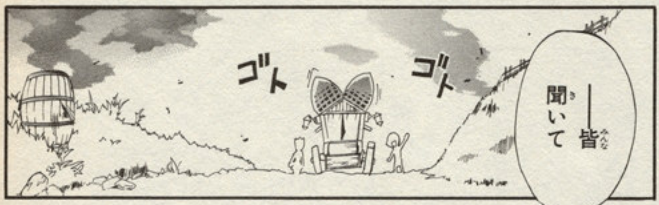
!?

満杯です
もう大丈夫ですよ?

!?
フォックス何を…!

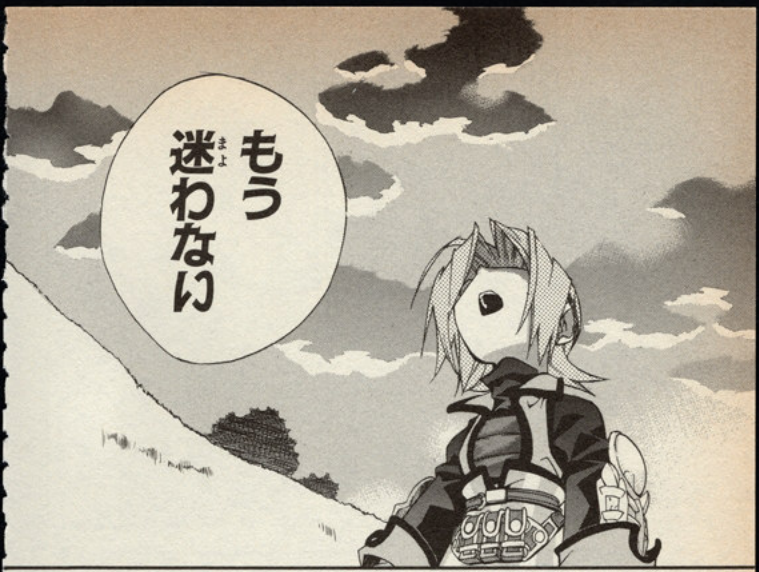
フゥー

これでルダの村を救ってください
で…でもそれじゃアンタ達が…



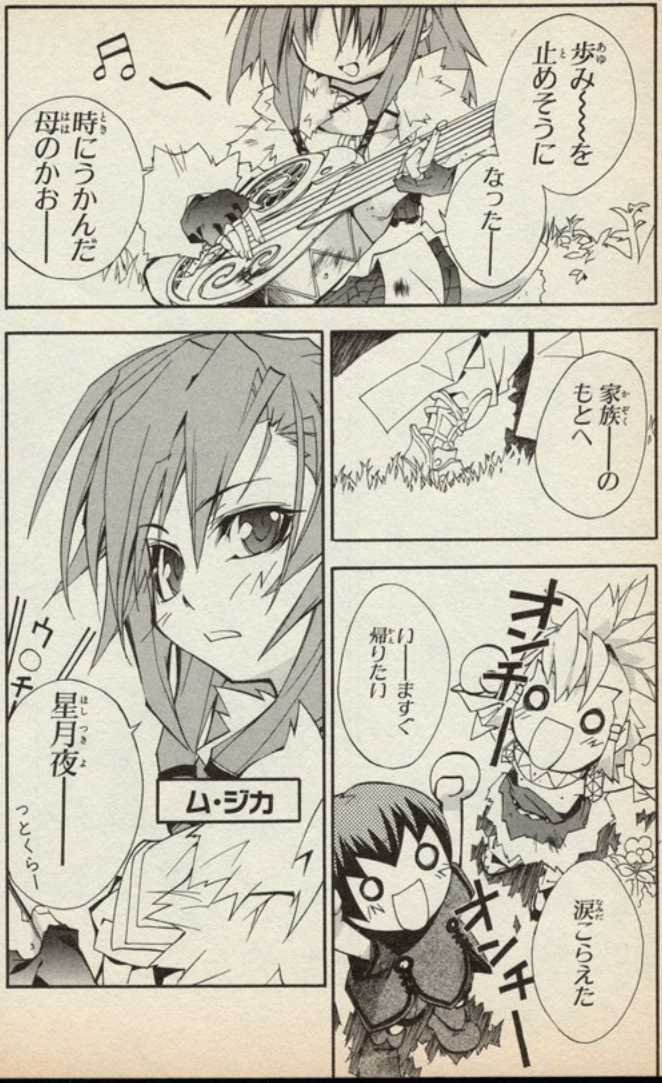
白騎士の正体は
魔物と僕の
母さんとシーベーグの
父さんの同化した姿

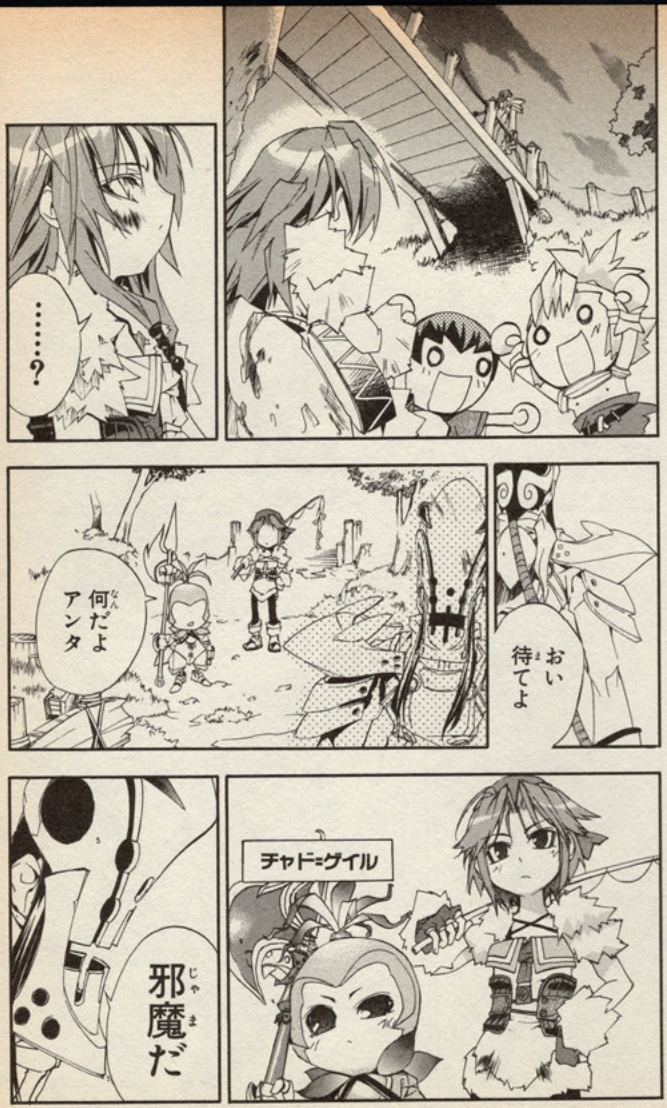
それを知った時
母さんを元に
戻せるんじゃ
ないかと期待して
本気で攻めきる
事が出来なかった


もう
迷わない

クリスタル
キャラバンとして
村を守る!!

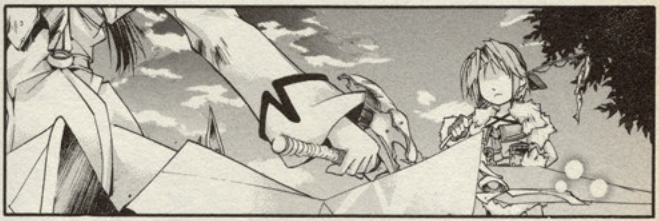
白騎士を倒して
ミルラの雫を
手に入れる

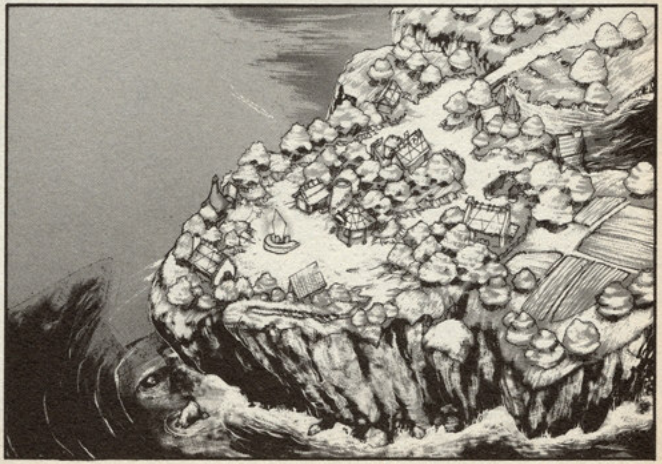

歩み～～を
止めそうに
なった――
時にうかんだ
母のかお――
家族――のもとへ
オンチー
オンチー
涙こらえた
り――ますぐ
帰りたり
ウ○チ
星月夜――
ム・ジカ
っとくらー


……？
おい
待てよ
何だよ
アンタ
チャド＝ゲイル
邪魔だ

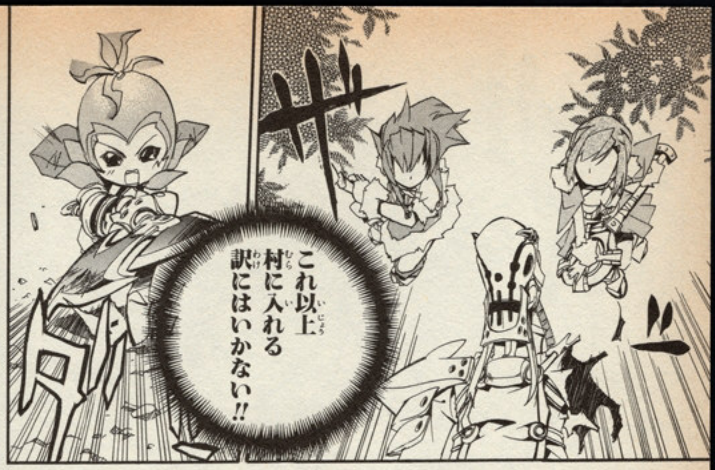
アリオン！
今外で…
ミミ
とうとう
やって来たのか
ガシャ
アリオン…？
総出で
迎えなきゃな
その剣は…

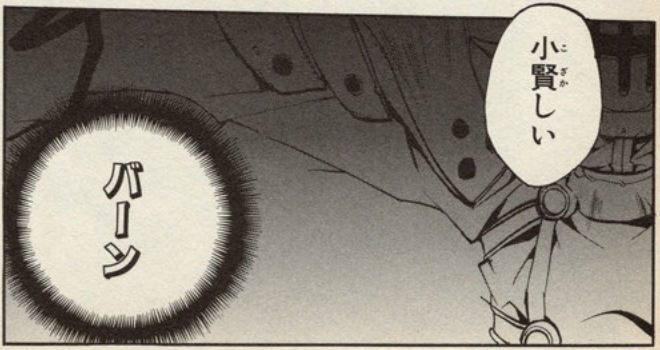
我らが
元クリスタル
キャラバンの
お帰りだ





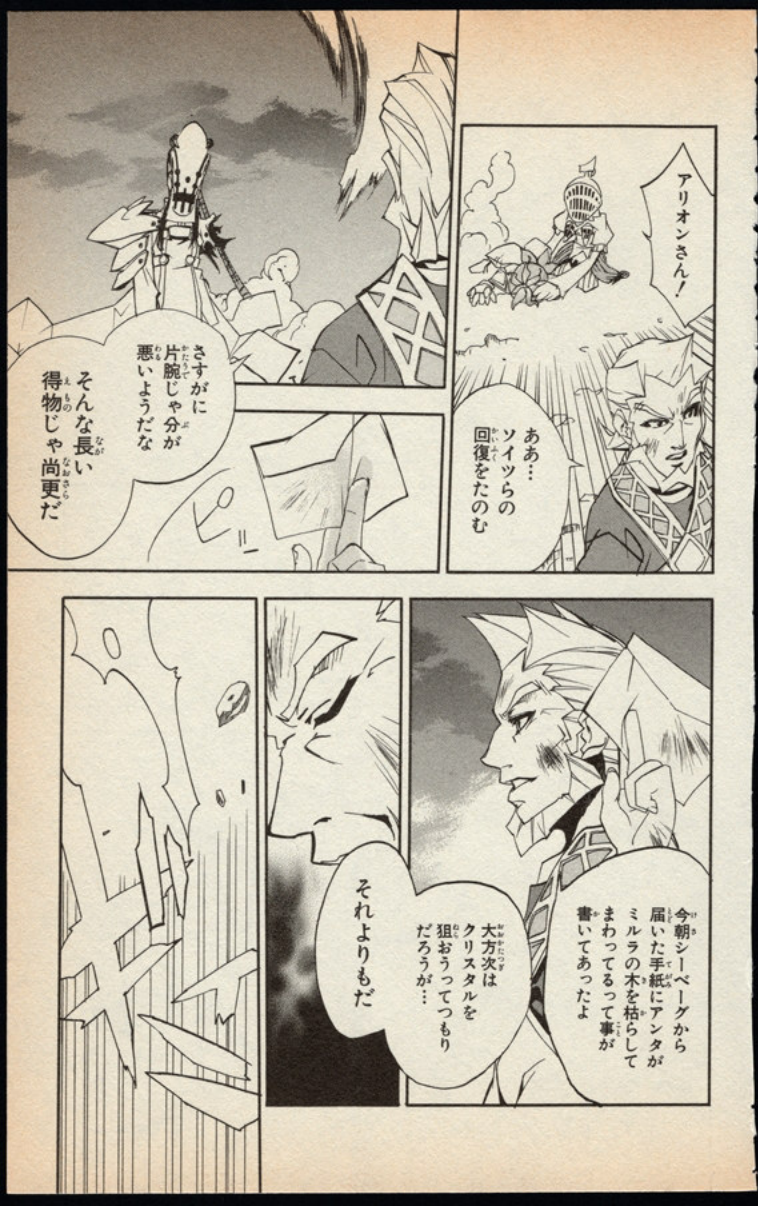
ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル
ファイア
がっッ
――とにかく

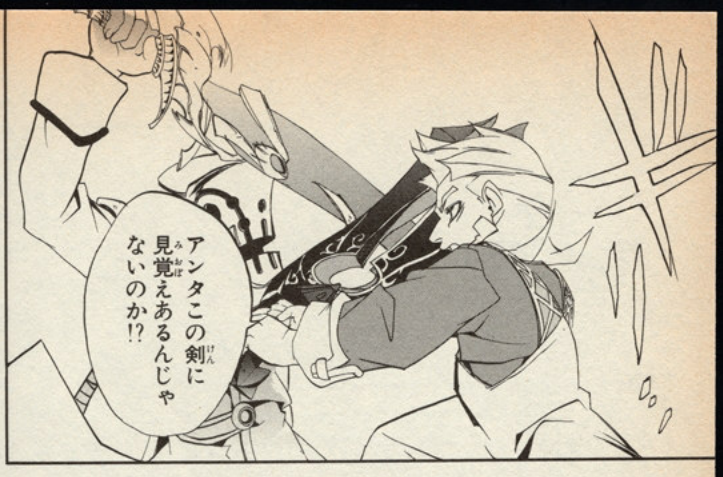

これ以上
村に入れる
訳にはいかない!!


小賢しい
バーン

最終月
命をつむぐ旅
!!
そんな…
遅かった!?

ヨォ
ようやく
会えたな
ぐうっ!?


アリオンさん！
ああ…
ソイツらの
回復をたのむ
さすがに
片腕じゃ分が
悪いようだな
そんな長い
得物じゃ尚更だ
今朝シーベーグから
届いた手紙にアンタが
ミルラの木を枯らして
まわってるって事が
書いてあったよ
大方次は
クリスタルを
狙おうってつもり
だろうが…
それよりもだ


アンタこの剣に見覚えあるんじゃないのか!?

俺が妻に継いでキャラバンの旅の中見つけた唯一の手掛かりだ
レベナ・テ・ラで見つけた妻の遺品だ
こいつだけが残されていた…誰も…どこにもいない

レベナ・テ・ラの亡霊リッチも!
キン!

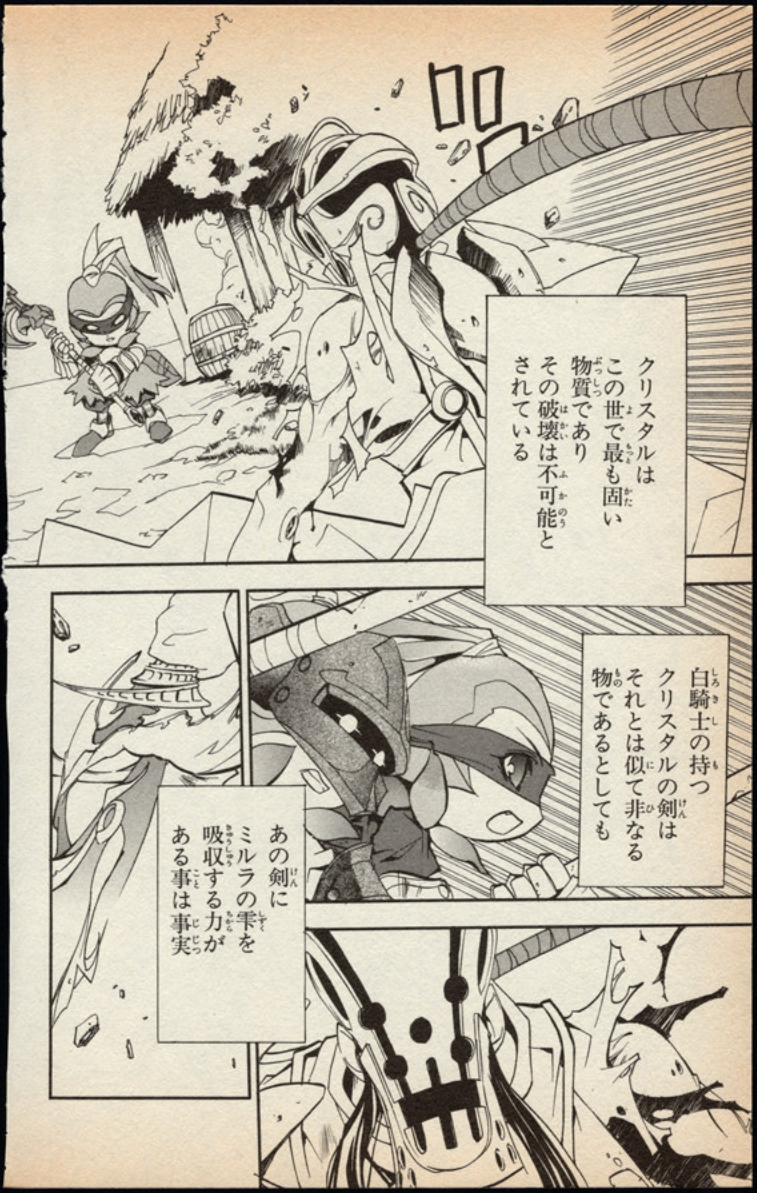
この剣はそいつを！
アンタを倒す為に
今日まで持っていた
ものだ！
嬉しいぜ！
探し求めて10年
今になって
自分から
やってくるとはな
とうとう妻の敵に
めぐり会えた！
妻の敵か…
くだらん
貴様も
ジャック・モキートと
同様自分の女の
後を追うか？

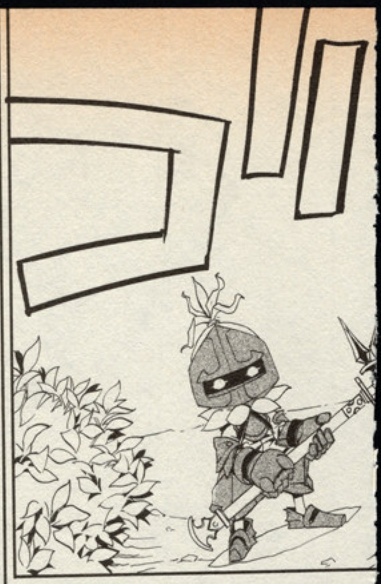
――何？
左腕が――…
今引導を渡してくれよう
あ…
あれは!!
アルフィタリアで切り離したデ・ナムの腕か!?
父さあああん!?

貴様などに
用は無い
村とともに
瘴気に呑まれ
朽ち果てよ
うわあああっ!!

かまうな
フォックス!!
これくらい
どうって事無い…
あいつを
止めろ…
奴を村の
クリスタルに
近づけるな!!
早く
行け!!
で…
でも
何迷って
やがる!!
お前は
クリスタル
キャラバンだろう!!!
キッ

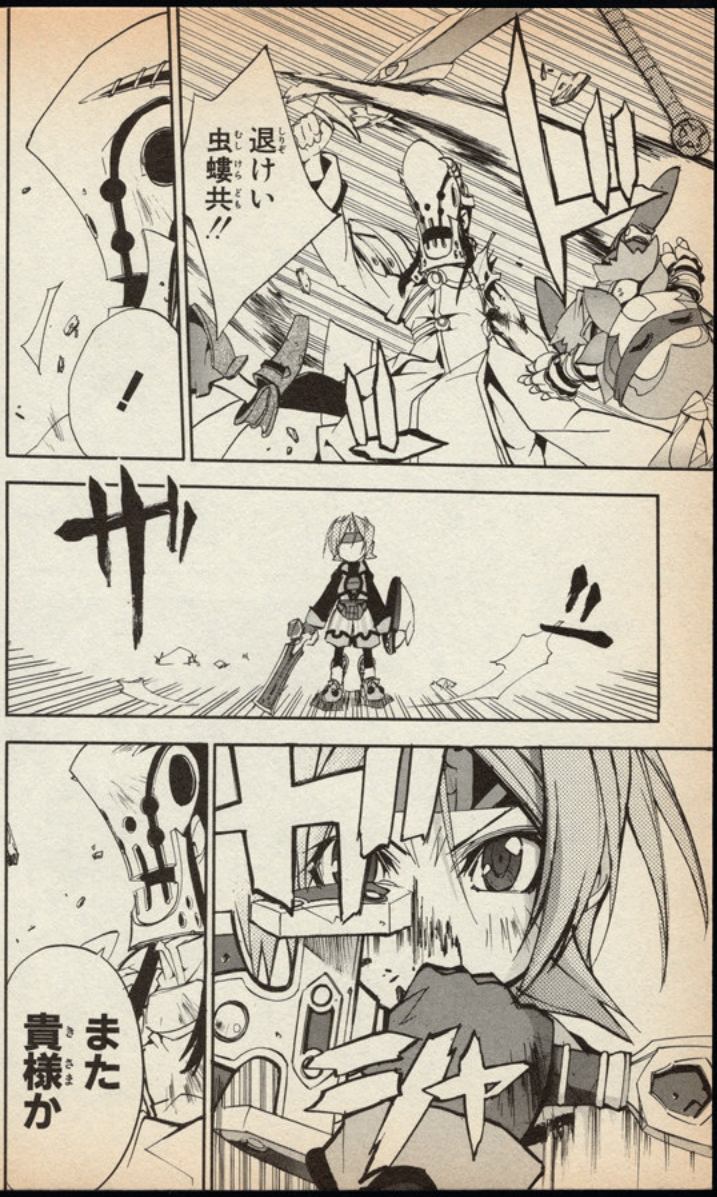
クリスタルを…
村を守れ…
使命を果たせ…
たとえ相手が
何者だろうと
クリスタルを
守ってみせろ!!!


クリスタルは
この世で最も固い
物質であり
その破壊は不可能と
されている
白騎士の持つ
クリスタルの剣は
それとは似て非なる
物であるとしても
あの剣に
ミルラの雫を
吸収する力が
ある事は事実


ゴ

そしてそれが
ミルラの雫によって
輝きを保つ
クリスタルに対しても
可能だとしたら！

奴の剣をクリスタルに
触れさせる訳にはいかない!!


退けい
虫螻共!!
!
!!
また
貴様か

フッ
!!

ぐっ！
おのれ…！
!?
今のは
父さんの分
これは
アルフィタリアの
人達の分

おおお!?
く……ッ
クソが!
盾だと…!?
この男…
これはお前に操られた

ジュニアの分!
強い!!
か…っつ
フォックス…
やったれー
まだだよ
まだ母さんとエルゴーヴさんの分が残ってる

おとなしく
その体から出て
レベナ・テ・ラへ帰れ
フォックス
そうすれば
形はどうあれ
村に帰ってこれた
二人の事は…
!?
やっと会えた
ようやく…
母さん
うれしいわ
ああ…
私のカワイイ
フォックス
ザ…
…母さん?
本当に…

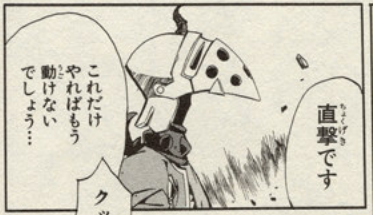
ヒュ
オッ
馬鹿め！
今
止めを…
ヒキ
ちッ
フォックスに
止めなんて
させない！
そんな事だろうと
思ってたけど
もう許さないで
いいわよね！

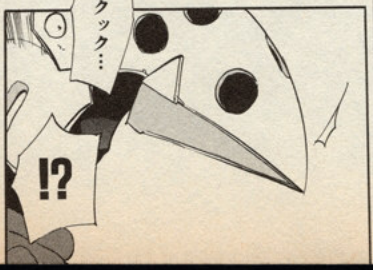
ホラ！
ぐぉっ！
！
ブリザラ

おお
ごおぁ!!
フォックス大丈夫!?
う…剣は…
剣を…ッ
!
――モグ!
ピシ
クエイク!!

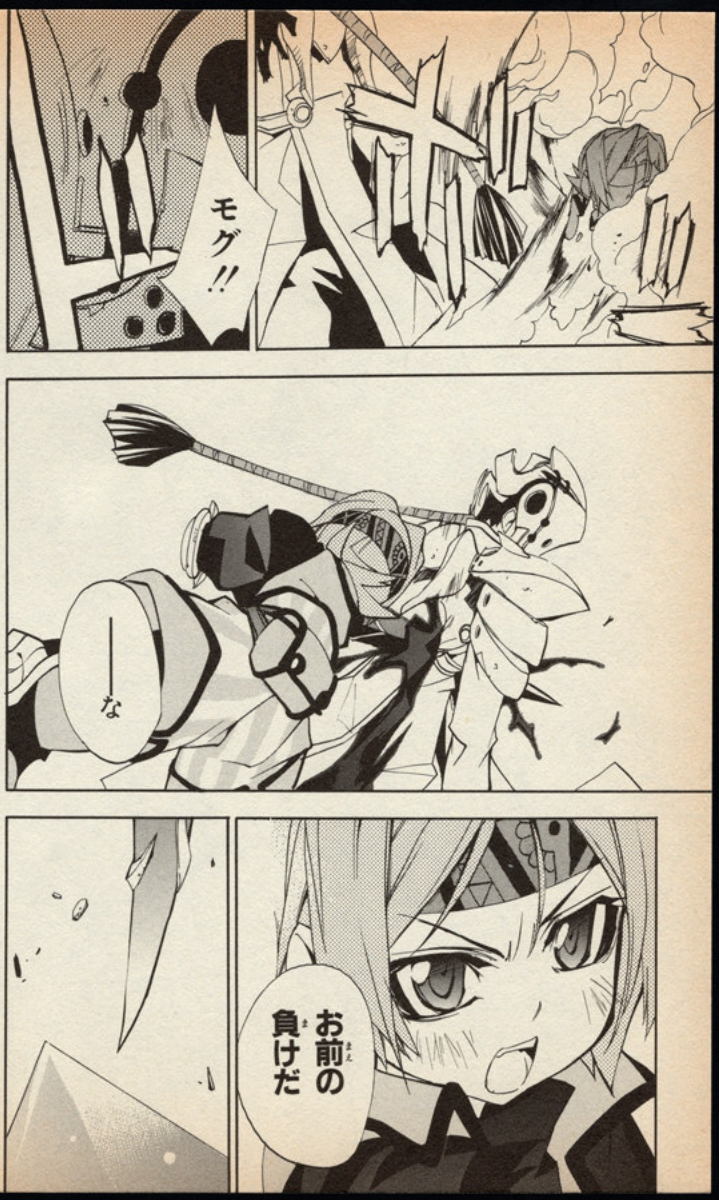
貴様等〜〜ッ
ズッ
!!
こんなモノで我を
止められると
思っているのか!!
ファイガ!

くくくくッ!!


直撃(ヒット)です
これだけやればもう動(うご)けないでしょう…


クックック…
!?

もう動く必要など無い
何故ならもう我の勝利だからな
クリスタルの剣が無い!?
ファイガを喰らう直前に投げた!
我の勝ちだ!
瘴気に呑まれ滅びるがいい!!


モグ!!
――な
お前の負けだ

なぁあにいいいっっ!!?
暗(あん)
黒(こく)
剣(けん)!!

……あ…
かっ…
う…
あぐっっ
カラン

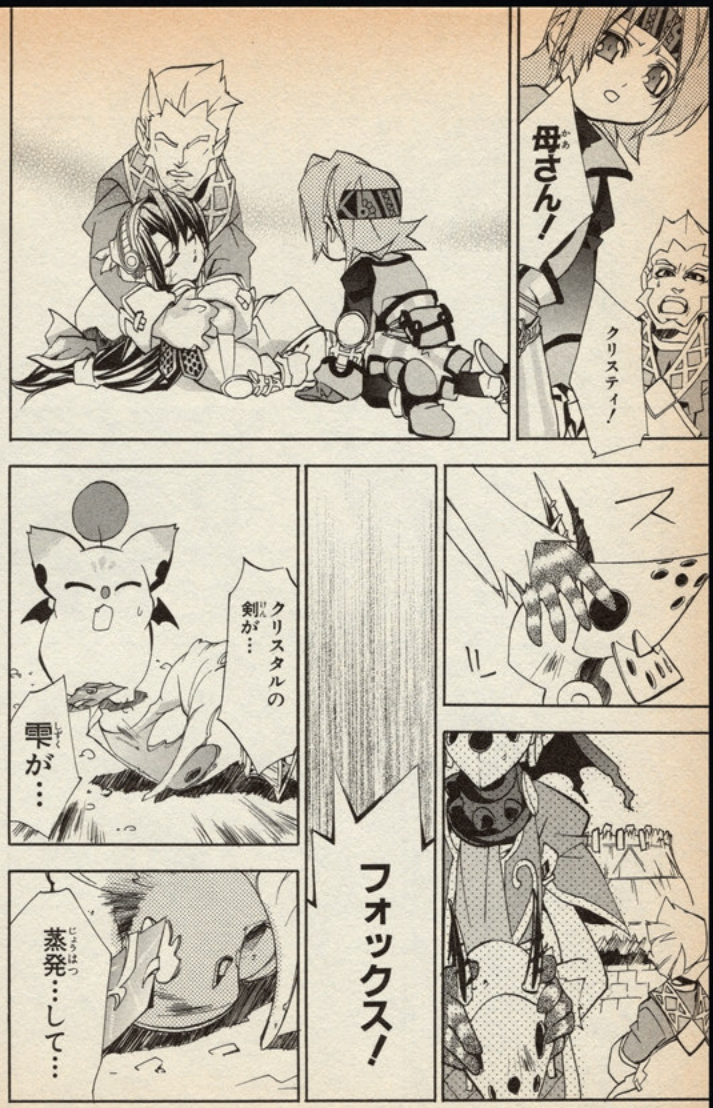
な…何と言う事を…
実の肉親の体だというのに…
…こんな…
だからもうやめるように言った…何より

もう僕はすでに
僕の為に実の肉親を傷つけてしまった
……
ミシッ
！
ぐおおおっ!!

オオオのれェ…
折角新しい体を手に入れたのに…ッ
全て消える…
自由が
記憶が…
喰われる
ゴゴゴゴゴ

魔に
ラモ…
……エ
ズズズ

魔に喰われる？
一体…
ケアルガ!!
——これでどうなる訳でもないが
せめて…
元の綺麗なままに
シュウウ…

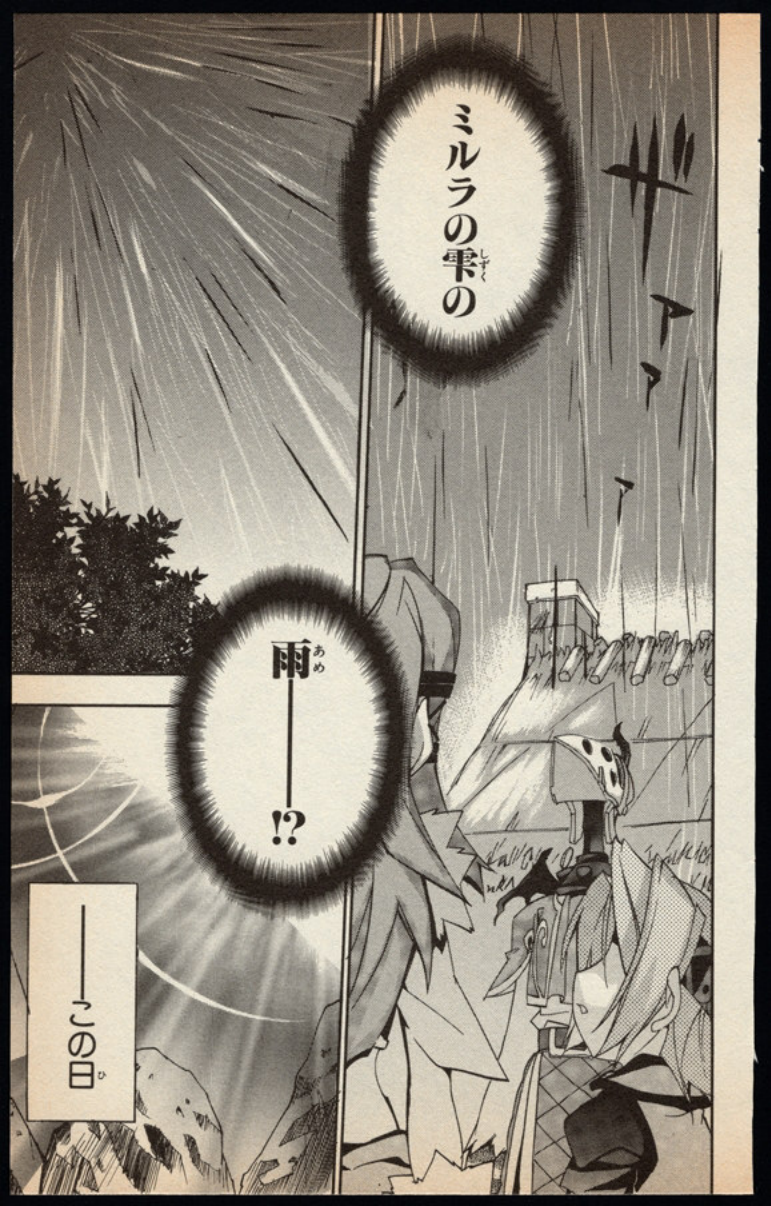

母さん！
クリスティ！
フォックス！
クリスタルの剣が…
雫が…
蒸発…して…

え!?
そんな!
ガー
圧縮されていたミルラの雫…

村を瘴気から守る希望が…
消えた…
そんな…

そんな馬鹿な…
確かに雫がここにあるハズなのに…
どうしたんじゃ? フォックス
…僕

ミルラの雫を無くしてしまった…
もうどうする事も出来ない
パラ
パラ
今から旅立ってもたぶん…
ミルラの木ももう…
フォックス
ル・ジェ…
顔を上げて


ザアアア
ミルラの雫の
雨――!?
――この日

白騎士の枯れさせた
ミルラの木から得た
大量の雲が大気中に
散って雨となり
世界中の
クリスタルが
輝いた
アルフィタリアに
シェラの里
それからマール峠
もちろん
ルダの村も
…フォックス
キレイ…
あの子…
がんばったのね

クリスティ!!
ただいま
あなた
ミルラの雫の
雨の力なのか…
そう言うと
母さんは再び目を
閉じて静かに
息を引き取った
安らかな笑顔を
浮かべながら…
――そして
また次の年
フォックス
――!

掲載・月刊少年ガンガン平成17年2月号～6月号

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル はてなき空の向こうに 3 おわり

〈作画構成〉

壱河柳乃助

〈スタッフ〉

北風あろ

藤坂途人

バンノムツミ

柳田真由乃

〈担当編集〉

松崎武吏(ガンガン編集部)

鹿塩武志(ガンガン編集部)

〈監修・協力〉

片岡正博(スクウェア・エニックス)

板鼻利幸(スクウェア・エニックス第2開発事業部)

岡宮道生(スクウェア・エニックス宣伝部)

趣水清貴(スクウェア・エニックス宣伝部)

河野麗(スクウェア・エニックス宣伝部)

田口浩司(スクウェア・エニックス)

ガンガンコミックス

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル はてなき空の向こうに 3

2005年7月22日
初版

著者　壱河柳乃助

©2005 Ryunosuke Ichikawa

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO,INC.
FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana.

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

〒151-8544　東京都渋谷区代々木3-22-7　新宿文化クイントビル3階
〈内容についてのお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0835
〈販売・営業に関するお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0832
FAX 03(5352)6464

印刷所　凸版印刷株式会社

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan

ISBN4-7575-1455-7 C9979

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO,INC. FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana.

SQUARE ENIX.
ガンガンコミックス